

事務事業名	中小企業相談事業補助金
-------	-------------

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	昭和 47 年度
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	活力ある市内企業の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	経営基盤の強化と経営支援機能の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	登別商工会議所が行う中小企業相談事業を支援することにより、市内中小企業者の経営の安定と発展を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市内中小企業者の経営の安定と発展を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 登別商工会議所中小企業相談所が行う、金融や税務等を中心とした中小企業相談事業に対して補助を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 中小企業基本法、商工会及び商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律、登別市補助金等の事務取扱に関する規則、中小企業相談事業補助金交付要綱	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別商工会議所中小企業相談所

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他	ふるさとまちづくり応援基金積立金繰入金	千円	2,551	2,551	1,342	1,342	
一般財源		千円	4,449	4,449	5,658	5,658	7,000
	合計		7,000	7,000	7,000	7,000	7,000

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 登別商工会議所中小企業相談所が行う、金融や税務等を中心とした中小企業相談事業に対して補助を行った。 【事業実績】 ・相談事業1,018件（巡回指導532件、窓口指導486件） ・講演会、講習会開催 個別指導1回（参加者4名） 集団指導5回（参加者107名） ・金融の斡旋（件数18件、総額149,800千円）						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		巡回・窓口相談企業数	件	532	700	1,236	1,018	1,300
		金融貸付件数	件	18	37	30	18	100

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 相談件数は多く推移しているものの、相談事業に従事する人材の確保が難しくなっている。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	登別商工会議所中小企業相談所が行う、金融や税務等を中心とした中小企業相談事業に対して補助を行う。	目標 市内中小企業者の経営の安定と発展を図る。 計画 登別商工会議所中小企業相談所が行う、金融や税務等を中心とした中小企業相談事業に対して補助を行う。
	【2次評価】	行政評価会議	
継続	【3次評価】	総合	

事務事業名 中小企業者事業資金利子補給金

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	昭和 56 年度
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	活力ある市内企業の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	経営基盤の強化と経営支援機能の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 中小企業者等の資金調達に係る負担を軽減することにより、その事業活動を支援し、中小企業者等の経営の安定と発展を図ることを目的とする。

前回評価 改善

P l a n 概 要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 中小企業者等の資金調達に係る負担を軽減し、中小企業者等の経営の安定と発展を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 登別市中小企業特別融資制度の事業資金の貸付を受けた事業者に対し、利子補給を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市中小企業振興条例、登別市中小企業者事業資金利子補給要綱	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 中小企業特別融資制度の小口事業資金、団体事業資金、新分野支援進出支援資金の利用者

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	130	40	91	30	50
合計			130	40	91	30	50

D o 事 務 事 業 の 成 果 ・ 改 善 の 状 況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 登別市中小企業特別融資制度の事業資金の貸付を受けた事業者に対し、利子補給を行った。 【補給率】小口事業資金 年0.40% 団体事業資金 年1.50% 新分野進出支援資金 年0.70% ・各利子補給制度活用企業を訪問し、利子補給制度に関するアンケート調査を実施した結果、補給率の上昇や利子補給制度の継続について意見があった。 ・市内金融機関への周知協力の依頼をした。 ・他自治体が、各市町村へ利子補給制度のアンケート調査を行った結果、本市より補給率が大きい自治体が多かった。また、利子補給ではなく、信用保証料の補給を行っている自治体もあった。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		新規申請件数(当該年度)	件	5	6	10	8	10
	実施件数(当該年度)	件	5	6	10	8	10	

C
h
e
c
k
課題等の状況

平成28年度

(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
・利子補給制度の利用実績の増加

評 価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	改善	<ul style="list-style-type: none"> 各金融機関に利子補給制度や中小企業特別融資制度のPRを依頼する。 引き続き、補給率の変更や事業のあり方について検討する。 	目標 中小企業者等の資金調達に係る負担を軽減し、中小企業者等の経営の安定と発展を図る。 計画 登別市中小企業特別融資制度の事業資金の貸付を受けた事業者に対し、利子補給を行う。
	【2次評価】	行政評価会議	
改善	【3次評価】	総合	

事務事業名 中小企業特別融資積立金

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	昭和 56 年度
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	活力ある市内企業の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	経営基盤の強化と経営支援機能の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	中小企業者等に低利の融資を行い、中小企業者等の円滑かつ積極的な事業活動を支援することにより、中小企業者等の経営の安定と発展を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 中小企業者等に低利の融資を行い、中小企業者等の経営の安定と発展を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 中小企業者等が低利の融資を受けられるよう、市が融資の原資となる積立金を金融機関に預託する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市中小企業振興条例、登別市中小企業特別融資要綱	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市内中小企業者等

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金			千円				
道支出金			千円					
地方債			千円					
その他	中小企業特別融資積立金繰入金		千円	64,000	42,000	54,000	34,000	46,000
一般財源			千円					
合計				64,000	42,000	54,000	34,000	46,000

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 中小企業者等が低利の融資を受けられるよう、市が融資の原資となる積立金を金融機関に預託した。 【融資の種類】一般事業資金、団体事業資金、小口事業資金、事業所開設資金、小規模商工業近代化資金、新分野進出支援資金						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		融資申請件数(当該件数)	件	2	8	4	0	10
		融資実行件数(当該件数)	件	2	8	4	0	10

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・新規融資制度利用者の増加
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	<ul style="list-style-type: none"> 融資利用件数を増やすため、広報やホームページで周知を行う。 各預託先金融機関に、顧客から新規融資について相談があった場合、積極的に本融資制度のPRを行ってもらうため、協力を依頼する。 	目標 中小企業者等に低利の融資を行い、中小企業者等の経営の安定と発展を図る。 計画 中小企業者等が低利の融資を受けられるよう、市が融資の原資となる積立金を金融機関に預託する。
	【2次評価】	行政評価会議	
改善	【3次評価】	利用者の実績などを踏まえ、制度のあり方について検討すること。	
		総合	

事務事業名 中小企業地域経済振興協議会経費

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 26 年度
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	終了年度	平成 28 年度
基本的な方向	1	活力ある市内企業の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	4	にぎわい溢れる商業の振興	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	地域経済の振興に係る総合的ビジョン及び中小企業振興に必要な施策の研究を行うことで、市民生活の向上及び地域の活性化に寄与することを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 登別市中小企業地域経済振興協議会を開催し、中小企業振興に必要な施策の研究を行い、市に提言する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・登別市中小企業地域経済振興協議会を開催し、中小企業振興に必要な施策の研究を行う。 ・同協議会における議論の内容の報告とともに、中小企業振興に必要な施策を市に提言する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市中小企業地域経済振興基本条例	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民、市内中小企業者等

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		1,020	924	0	0	0
	合計			1,020	924	0	0	0

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ・登別市中小企業地域経済振興協議会からの意見を取りまとめ、平成28年9月、市に提言書を提出した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		協議会開催回数	回	0	16	15	3	

課題等の状況	平成28年度	特になし
--------	--------	------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	休止	協議会からの提言書を基に、地域経済振興に係る総合的ビジョンを策定する。 策定後、中小企業地域経済振興に向けた方向性を意見交換するため、平成30年度に事業を再開する予定である。	目標
	平成28年度 【2次評価】	行政評価会議	計画
【3次評価】	総合		

事務事業名 登別ブランド推進事業補助金

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成23年度
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	終了年度	平成—年度
基本的な方向	1	活力ある市内企業の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	製品等の魅力の向上とブランド力・技術力の強化	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 市内の特産品のブランド化の取り組みを支援することにより、地域経済の活性化を図ることを目的とする。

前回評価 改善

概要

目標 (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)
 事業を通じ、広く周知を行うことにより、登別ブランドの認知度を向上させる。

計画 (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)
 ・登別ブランド推奨品の認定により市内産品の高付加価値化及び商品開発の促進を行う。
 ・広告掲載やギフトセットの周知等、登別ブランドの認知度向上及び販路拡大への支援を行う。
 ・ポスターやリーフレットによる国内外に向けた登別ブランドの周知を行う。
 ・ブランド認定による経済波及効果を検証するため、推奨品の販売実績に係るアンケートを実施する。
 ・ブランド認定制度の効率化等のため、認定制度の改定を行う。
 ・登別版ご当地グルメ「登別閻魔やきそば」の普及促進支援を行う。

根拠 (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)
 登別ブランド推進事業補助金交付要綱

対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)
 登別ブランド推進協議会

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他	いきいきふるさと推進事業助成金/ふるさとまちづくり応援基金積立金繰入金	千円	1,000	1,000			2,000
一般財源		千円	2,000	1,863	4,000	3,614	1,000
合計			3,000	2,863	4,000	3,614	3,000

事務事業の成果・改善の状況

平成28年度

(実績を簡潔に記入してください)
 登別ブランド推奨品の宣伝や販売促進、販路開拓に向けて支援を行う登別ブランド推進協議会に対して、その活動に要する経費を補助した。
 【補助事業の概要】
 ○登別ブランド推奨品認定：「登別牛乳カステラ」（新規認定）、「北海大こ地獄漬」・「文志郎の納豆輪×昆布巻」・「のぼりべつとろ〜りプリン」
 「湯の香ひょうたん飴」（再認定）平成28年度末現在認定商品 29商品
 ○広告宣伝：新聞記事掲載、旅行雑誌・航空会社機内誌等への記事・広告等掲載、テレビ番組撮影・放映、空港ラウンジサンプリングなど
 ○情報発信：リーフレットの改修・増刷（3.5万部⇒6.5万部）及び多言語化（英語・中国語繁体字各3万部）を行い、市内宿泊・観光施設等で配布
 登別ブランドの会が実施したギフトセットリーフレットの発行及び周知に係る支援、登別ブランド推奨品無料試食会実施支援
 【改善事項】
 ○推奨品の販売実績調査の実施及びブランド認定要件の改定、再認定に係る基準の改定
 ○新商品開発促進及び商談会出展報告等を目的としたブランド認定事業者意見交換会の開催
 ○登別閻魔やきそば派生商品の開発研究の支援の実施（平成29年4月28日（金）発売開始）
 ○加工食品以外の取り組みとして、「おすすめ逸品 登別のイチオシ雑貨・お土産」の制度構築、募集を実施
 ○加工食品製造を目的とした、1次産品の研究・開発に係る意見交換実施
 ○広告宣伝事業等に係る成果指標の設定及び成果把握の実施

指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
新規認定商品数	品	1	3	5	1	4
ご当地グルメ提供店舗数	店	-	-	32	30	34

課題等の状況

平成28年度

(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
 ・認定事業者連携等を通じた新規認定商品の開発促進を継続する必要がある
 ・商談会等への出展促進及びバイヤー向けツールの作成・配布を通じた取引の増加を促進させる必要がある
 ・登別温泉地区以外の飲食店・小売店への誘客促進及び外国人旅行者の受入体制の充実化が必要
 ・各事業における効果の把握及び分析を行い費用対効果の高い事業を行うことで経費の節減を継続する

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	改善	<ul style="list-style-type: none"> ブランド認定事業者等による意見交換会の実施 外国人対応に係る翻訳等支援 加工食品以外の地域資源のブランド化及び情報発信 外国人を含む観光客に対する情報発信の促進 	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 新商品の開発や商品の魅力向上、新たな地域資源の掘り起こしを行うとともに、効果的な情報発信を行い登別ブランドの価値と認知度を向上させる。 <p>計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人を含む旅行者に対する情報発信を図り、販売額等の向上を目指す。 市内事業者に対する翻訳支援や外国人対応に向けたアドバイスをを行う。 加工食品以外の地域資源について、リーフレット等により周知を行う。 事業効果の把握及び分析を行い、経費の節減を図る。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	改善	総合	

事務事業名 西いぶりクラウドファンディング販路拡大事業

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 28 年度
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	活力ある市内企業の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	製品等の魅力の向上とブランド力・技術力の強化	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	西胆振の地域資源を活用した特産品の販路拡大を図る事業者に対し、クラウドファンディングの活用を促進し、既存の補助金や融資に依存しない資金調達、出資者の口コミによる情報発信、出資者からのフィードバックによる特産品の磨き上げを行うことで、新たな雇用の創出、地域の自立的発展を促進することを目的とする。	前回評価
----	---	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 6市町のファンド組成件数 6件	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・6市町で「西いぶりクラウドファンディング推進運営協議会」を設置する。 ・募集説明会を開催し、西胆振地域の企業にファンド活用を促す。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 西胆振地域の企業

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	地方創生加速化交付金	千円			773	332	
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円						
合計				0	0	773	332	0

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 6市町と金融機関、商工会議所など官民連携で組織する「西いぶりクラウドファンディング推進運営協議会」を設置し、ファンド組成に要する費用の2分の1を支援することにより、西胆振地域の企業の「投資型クラウドファンディング」を活用した商品開発や販路拡大等を推進した。 ・募集説明会の開催 2回 ・ファンド組成件数 1件						
	指標		単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	ファンド組成件数		件	-	-	-	1	-

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・クラウドファンディング活用企業の掘り起こし
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	休止	本事業は、補助制度や融資制度に依存せず、企業自らが資金調達を行う新たな仕組みの導入を支援する取り組みであるが、ファンド組成が1件に留まったことから、ファンド組成に係る費用の一部支援はいったん休止し、事業者のニーズや制度活用の意欲を見極める必要がある。	目標
	平成28年度 【2次評価】	行政評価会議	計画
【3次評価】	総合		

事務事業名 室蘭テクノセンター運営費負担金

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 28 年度
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	活力ある市内企業の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	製品等の魅力の向上とブランド力・技術力の強化	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	登別市、室蘭市、伊達市の中小企業の技術力向上や新製品の開発に向けた支援などに取組む公益財団法人室蘭テクノセンターの運営を支援することにより、市内企業の技術力の向上や新製品の開発、販路拡大等を促進し、市内産業の活性化を図ることを目的とする。	前回評価
----	---	------

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 運営支援を通して、市内企業の技術力向上や販路拡大等に努めやすい環境を整える。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 公益財団法人室蘭テクノセンター

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	—	—	900	900	900
	合計		0	0	900	900	900

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 室蘭テクノセンター運営費負担金を支出した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
-----------------	--------	----------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	市内企業の技術力の向上や新製品の開発、販路拡大等を促進し、市内産業の活性化を図るため、引き続き、公益財団法人室蘭テクノセンターに負担金を拠出することにより、同センターの運営を支援する。	目標 公益財団法人室蘭テクノセンターの運営支援を通して、市内企業の技術力の向上や新製品の開発、販路拡大等を促進し、市内産業の更なる活性化を図る。
	【2次評価】	行政評価会議	計画
継続			
【3次評価】	総合		

事務事業名 札幌のぼりべつ交流プラザ開催経費

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 8 年度
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	活力ある市内企業の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	事業機会の拡大と域内循環の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	札幌のぼりべつ会と市内企業とのネットワークを構築し、札幌圏との経済交流を深めることにより、地域経済の活性化を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) ・市内企業や各種団体と、札幌圏との経済交流を深める。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・札幌のぼりべつ会と市内企業との交流の場として、札幌のぼりべつ交流プラザを開催する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 札幌のぼりべつ会、市内企業、各種団体

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		70	0	70	6	73
	合計			70	0	70	6	73

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ・札幌のぼりべつ会と市内企業との交流の場として、札幌のぼりべつ交流プラザを開催した。 内容 市商工関係者からの情報提供2名 講演「幌別中学校の活動軌跡報告」、交流会 参加者36名 札幌のぼりべつ会 18名 登別市 18名 (うち経済関係者5名)						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		交流プラザにおける情報交換等テーマ設定件数	件	4	3	4	4	4
		交流プラザ参加者数	人	33	33	37	40	40

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・市内企業や各種団体からの参加者の確保
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	各種団体を通して周知を行い、参加者の確保を図り、札幌圏在住者との経済交流を深める。	目標 ・市内企業や各種団体と札幌圏との経済交流を深める。 計画 ・札幌圏に在住する会員との経済交流を深め、地域経済の活性化を図るため、札幌のぼりべつ交流プラザを開催する。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 登別市商談会等出展補助金

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 27 年度
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	活力ある市内企業の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	事業機会の拡大と域内循環の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 市内事業者等が、自ら製造・開発した製品、技術、サービス等の販路開拓に向けた取り組みを支援することにより、市内経済の活性化を図ることを目的とする。

前回評価 維持

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市内事業者の商談会等への出展による販路拡大を促すとともに、商談会等への出展の有用性を認識してもらう。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・4月に補助金説明会を実施し、市内事業者に広く補助金について周知を行う。 ・広報紙及びホームページにて補助金について周知を行う。 ・補助金の適正な交付のため、要綱の改正を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市商談会等出展補助金交付要綱	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市内事業者

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金	千円	1,000	985			
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円			1,000	563	1,000
	合計		1,000	985	1,000	563	1,000

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 製品の販路拡大等を図るため、各種商談会に出展する市内事業者に対し、補助金を交付した。 【補助対象経費】 ・出展料、通信運搬費、設備リース料、旅費、宿泊費 【補助率】 ・市内事業者：補助対象経費の2分の1、上限20万円 ・登別ブランド推奨認定事業者：補助対象経費の3分の2、上限20万円 ・市内事業者で構成される任意のグループ：補助対象経費の4分の3、上限20万円 (千円未満切捨) 【実績】 ・補助件数：4件 (商談件数154件、成約数5件) 継続して事業に取り組んでいるほか、別に実施する『室蘭・登別「人・産業」創生パッケージ事業』において地方創生加速化交付金を活用し、室蘭市と連携して事業者の道外の商談会への出展補助を行った。(2商談会：5事業者参加)						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		補助実績	件	-	-	6	4	6
	商談成立件数	件	-	-	19	5	14	

課題等の状況 平成28年度
 ・出展により商談が成立しているほか、他の出展者を参考としたパッケージの改正や販促物の作成など自主的な動きも出てきており、また、新商品開発にもつながっている。
 ・しかしながら、従業者規模の関係から出展が難しいと考えている事業者も多いことから、事業効果の周知などを通じた新たな出展促進を図る必要がある。

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	<ul style="list-style-type: none"> 説明会、広報紙、ホームページによる周知を継続する。 出展者の事業結果の周知を行うこととして調整を図る。 市内事業者に対して商談会等に係る情報提供を行うと同時に、補助金の利用を呼びかける。 	<p>目標</p> 市内事業者の商談会等への出展による販路拡大を促すとともに、商談会等への出展の有用性を認識してもらう。 <p>計画</p> ・4月に補助金説明会を実施し、市内事業者に広く補助金について周知を行う。 ・広報紙及びホームページ、市内事業者へのメール配信にて補助金について周知を行う。 ・補助金の適正な交付のため、要綱の改正を行う。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	継続	総合	

事務事業名 室蘭・登別「人・産業」創生パッケージ事業

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成28年度
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	終了年度	平成—年度
基本的な方向	1	活力ある市内企業の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	事業機会の拡大と域内循環の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	本市と室蘭市が連携し、市内企業の競争力強化、販売促進と販路拡大、新分野への参入に向けた取組を支援するほか、市内企業のビジネスマッチングの機会を広げるとともに新たな誘致対象企業の発掘等を行うことにより、市内経済の活性化を図ることを目的とする。	前回評価
----	--	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) ・現場改善企業1社 ・国内外販路開拓商談成約数10社 ・新産業（水素）参入企業1社 ・新規誘致対象企業5社	
	計画	・地域の競争力を高める現場改善・生産性向上事業の実施・インフォメーションバザールinTokyo2016への出展支援・沖縄大交易会の出展支援・新価値創造展の出展支援・ビジネスEXPOの出展支援・水素ステーション部品を製造している企業との技術交流会の開催・北海道への進出を計画している企業データの取得による新たな誘致対象企業の抽出・ふるさと応援北海道フォーラムの参加・北海道ビジネスフォーラム～ふるさと応援～の参加・異業種交流展示会「メッセナゴヤ」の出展	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市内企業、誘致対象企業

事業費（財源内訳）	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算	
	国庫支出金	地方創生加速化交付金	千円			7,306	4,386	
	道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源		千円			1,450	681	
合計			0	0	8,756	5,067	0	

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ・地域の競争力を高める現場改善・生産性向上 公益財団法人室蘭テクノセンターが行う、インストラクターの派遣による市内企業の現場改善に向けた取組を支援した。 ・地産外商グローバルへの挑戦 国内外から多くのバイヤーが集まる商談会等への出展を支援した。 ・水素等新分野への挑戦 公益財団法人室蘭テクノセンターが行う水素等新分野への参入等に向けた取組に係る経費の一部を負担し、市内において水素関連技術を活かした取組を行っている企業や水素関連技術の開発等の可能性を有する企業の新たな技術開発や事業展開等を支援した。 平成28年度実績 水素参入企業0社 ・新産業定着 室蘭市が信用調査会社から購入する北海道への進出を計画している企業データを共用するとともに、市内企業の技術等をPRする催事に参加し、誘致対象企業の効果的・効率的な把握・発掘や、企業誘致活動を行った。 平成28年度実績 誘致対象企業訪問件数1社					
	指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	現場改善に取り組む企業	社	-	-	-	1	-
商談成約件数	件	-	-	-	6	-	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・販路拡大や新産業の展開に積極的な企業の育成 ・誘致対象企業の獲得に向けた、異業種交流会などPRの場への継続的な出展
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	終了	・登別市商談会等出展補助金の活用を促し、販路拡大や新産業の展開に積極的な企業の育成を図る。 ・誘致対象企業の獲得に向け、異業種交流会に参加する。	目標
	平成28年度	行政評価会議	計画
【2次評価】	終了	総合	
【3次評価】			

事務事業名 登別市住宅改良促進特別融資積立金

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 12 年度
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	活力ある市内企業の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	事業機会の拡大と域内循環の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市内の建設業者等を活用して住宅改良を行う市民に低利の融資を実施することにより、市民の住環境の向上、中小企業者等の経営の安定と発展を図ることを目的とする。	前回評価	改善
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市民の住環境の向上、中小企業者等の経営の安定と発展を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 市民が市内の建設業者等を利用して住宅の改良を行う際に、低利の融資を受けられるよう、市が、融資の原資となる積立金を金融機関に預託する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市住宅改良促進特別融資要綱	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市内の建設業者等を活用して住宅改良を行う市民

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他	住宅改良促進特別積立金繰入金	千円		6,000	6,000	12,000	5,000	8,000
一般財源		千円						
合計				6,000	6,000	12,000	5,000	8,000

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) <ul style="list-style-type: none"> 市民が市内の建設業者等を利用して住宅の改良を行う際に、低利の融資を受けられるよう、市が、融資の原資となる積立金を金融機関に預託した。 広報を活用した周知のほか、各預託先銀行に利用者増加を図るための協力要請や当該事業の周知徹底を図った。 各金融機関に、他の融資制度の利用状況について聴取したところ、他の融資制度の方が低金利の融資を行っていることが分かった。 <p>【資金種別及び利率】 住宅改良 1.95% バリアフリー改良 1.75%、新エネルギー関連改良 1.20%</p> <p>【融資条件】 1件当たり融資限度額300万円・償還期間10年以内</p>						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		融資申請件数	件	2	0	0	0	3
	融資実行件数	件	2	0	0	0	3	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・金融機関において、より低金利の融資を行っていることから、本融資制度の利用者が少ない。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	改善	・金融機関がより低金利の融資を行っていることから、本融資制度について利率の変更を検討し、融資利用者の増加を図る。 ・広報を活用した周知のほか、各預託先銀行や建設事業者へ利用者増加を図るための協力要請や当該事業の周知徹底を図る。	目標 低利の融資を実施することにより、市民の住環境の向上、中小企業者等の経営の安定と発展を図るため、融資件数の増加を目指す。 計画 ・利率の変更を検討し、融資利用者の増加を図る。 ・広報を活用した周知のほか、各預託先銀行や建設事業者へ利用者増加を図るための協力要請や当該事業の周知徹底を図る。
	【2次評価】	行政評価会議	
改善	【3次評価】	総合	

事務事業名 商店街活性化事業補助金

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成23年度
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	終了年度	平成—年度
基本的な方向	1	活力ある市内企業の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	4	にぎわい溢れる商業の振興	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	商店街のにぎわい創出に寄与する事業を支援することにより、商店街の活性化を図り、もって本市における商業の発展に寄与することを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 当該補助金の活用実績を増加させる。(対前年度+1件)	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・説明会を実施したり、広報・HPを活用したりすることで、当該補助金の認知度向上に努める。 ・窓口相談があった場合には、相談者に寄り添う対応に努め、申請に対するフォローを実施する。 ・申請内容を鵜呑みにせず、補助金の活用がより効果的なものとなるよう提案する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市商店街活性化事業補助金交付要綱	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 「商店街活性化支援事業補助金」市内商店会等 「店舗リフォーム補助金」市内で事業を行う個人および法人

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金	千円		1,160			
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		6,000	1,865	9,499	2,339	4,000
合計				6,000	3,025	9,499	2,339	4,000

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 「商店街活性化支援事業補助金」 市内商店会等が実施する、商店街の活性化やにぎわいにつながる先進的、創意工夫が認められる事業に対して補助金を交付した。 【補助率】 ハード事業：補助対象経費の3分の2、上限100万円 ソフト事業：補助対象経費の3分の2、上限50万円。 ※複数の商店会等が連携する事業は上限100万円。 「店舗リフォーム補助金」 店舗の全部又は一部について、修繕、補修、模様替え、増改築等を行う工事に対し補助金を交付した。 【補助対象経費】店舗の改造、改装に要する経費及び建物と一体となって機能する設備費 【補助率】補助対象経費の2分の1、上限20万円				
	指標					
	商店街活性化支援事業補助金件数	件	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績
店舗リフォーム補助金	件	-	-	3	6	6

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・複数事業を併せて実施することで相乗効果を高めることが必要。 ・広報掲載、説明会の開催のほか、商工会議所で開催された商店会会長等が集まる会議で周知等を行っているものの店舗リフォーム補助金を他の事業者からの口コミで知ったという事業者も多い。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	<ul style="list-style-type: none"> 補助金活用に関する相談の段階から、他団体との連携による事業実施を促進する。 各補助金説明会の継続な実施（全体及び各商店会向け） 広報やHPを活用した補助金の認知度向上 商店街や各事業者が集まる場を活用した制度の周知 	目標 当該補助金の活用実績を増加させる。(対前年度+1件) 計画 さらなる認知度向上を図るため、広報やHPへの掲載に加え、市内企業を営む多くの会員がいる登別商工会議所への協力を要請するほか、(中小企業相談事業等の一環として)関係者が集まる場を活用して情報発信をおこなう。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 **創業支援事業費**

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 28 年度
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	市内産業を担う新たな企業の創出	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	起業・創業の促進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 市内での起業・創業を考えている者及び起業・創業間もない者を支援することにより市内における起業・創業を促進するとともに、起業・創業後の経営基盤を安定させ、市内経済の活性化を図ることを目的とする。

前回評価

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 当該補助金の活用実績を増加させる。(対前年度+1件)	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・市内で起業・創業する者に対して、店舗の賃借や改装等に係る経費の一部を補助する。 ・説明会の実施や広報・ホームページを活用して、当該補助金の認知度を向上させる。 ・補助金支出後も、適宜フォローを行い創業後の経営の安定させるための支援を行う。 ・国の創業支援事業計画を申請し、商工会議所や地域金融機関と連携して創業支援に取り組むため、事業所開設費補助金と統合する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市商店街活性化事業補助金交付要綱(空き店舗活用事業補助金)、登別市事業所開設費補助金交付要綱(事業所開設費補助金)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 「空き店舗活用事業補助金」市内にある空き店舗を活用して新たに事業を行う者、 「事業所開設費補助金」市内において新たに事業を行う者

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他	観光開発基金積立金繰入金	千円	0	0	1,000	0	1,000
一般財源		千円	0	0	6,761	3,149	9,175
	合計		0	0	7,761	3,149	10,175

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ・起業・創業セミナー及び経営セミナーの開催 起業・創業の心構えや経営者に必要な資質、資金調達方法等、専門家による講座を開催した。 ○日程 2月18日(土)・22日(水) ○参加者 計13名 ・空き店舗活用事業補助金 市内において空き店舗になってから3カ月以上経過している店舗を利用して事業を行う者に対し、店舗賃借料の一部を補助した。 ・事業所開設費補助金 市内において新たに事業活動を行う者に対し、事業所を開設する際に要する経費の一部を補助した。 ・起業・創業支援事業計画の策定 商工会議所や金融機関と連携した起業・創業支援体制を構築するため、「起業・創業支援事業計画」を策定し、平成28年12月26日付けで登別市の創業支援事業計画が国の認定を受けた。 ・事業所開設費補助金と統合した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		空き店舗活用事業補助金	件	-	8	10	13	13
	事業所開設費補助金	件	-	-	10	5	5	

課題等の状況 平成28年度
(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
・補助金が活用できることを知らない、事業を始めてから補助金の申請にくる等、更なる認知度の向上に努める必要がある。

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	統合	<ul style="list-style-type: none"> 各補助金説明会の継続な実施 広報紙やホームページを活用した補助金の認知度向上 登別商工会議所と連携し、創業者や創業後の経営を安定させるための支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙等を通して補助金の認知度向上に努め、利用しやすい補助金を目指す。 創業支援にかかる事業について、主体となる登別商工会議所と連携して取り組んでいく。
	【2次評価】	行政評価会議	<ul style="list-style-type: none"> 登別商工会議所に対する支援。 利用者の声や口コミ等に基づくPRの実施。 事業を始めようとしている人がスムーズに補助金申請をできる体制づくり
【3次評価】	統合	総合	

事務事業名 **企業立地振興補助金**

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	昭和 60 年度
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	市内産業を担う新たな企業の創出	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	企業立地の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市内における企業の立地を促進し、地域経済の活性化と雇用機会の拡大を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	-----------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 効果的な雇用創出等が期待できる企業を呼び込む。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・市内における企業の立地を促進し、地域経済の活性化と雇用機会の拡大を図る。 ・道外への企業訪問を継続的に実施し、企業が立地先に求める条件などの情報収集に努め、市のニーズにマッチする企業を探していく。 ・特に交流会を通して得られた情報をもとに北海道に進出計画のある企業を優先的に訪問し、企業立地のPRを行う。 ※前年度において、当該事業に係る補助対象企業が存在しなかったため、平成28年度は補助していない。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市企業立地振興条例 登別市企業立地振興条例施行規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市内に施設を新設し、又は増設する者

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		900	900	0	0	0
合計				900	900	0	0	0

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 前年度において、当該事業に係る補助対象企業が存在しなかったため、補助していない。 【参考：要件】 ・施設の新設又は増設のために投下する固定資産の総額が、3,000万円を超えること ・新たに雇用される常用従業員が、新設にあつては4人以上、増設にあつては2人以上であること						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		企業誘致（増設）件数	件	0	1	0	0	1
		誘致（増設）企業の新規雇用者数	人	0	3	0	0	3

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 誘致対象企業の新たな獲得
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	企業訪問等を通して、効果的な雇用創出等が期待できる企業を呼び込む。	目標 効果的な雇用創出等が期待できる企業を呼び込む。 計画 ・道外への企業訪問を継続的に実施し、企業が立地先に求める条件などの情報収集に努め、市のニーズにマッチする企業を探していく。 ・特に交流会を通して得られた情報をもとに北海道に進出計画のある企業を積極的に訪問し、企業立地のPRを行う。
	【2次評価】	行政評価会議	
	継続		
	【3次評価】	総合	

事務事業名 **企業誘致等経費**

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 - 年度
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	2	市内産業を担う新たな企業の創出	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	企業立地の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	効果的な雇用創出等が期待できる企業を呼び込むほか、市内をフィールドとした企業活動を誘致することにより、市内経済や雇用の維持・向上を図るとともに、個性ある地域の産業集積の形成、活性化を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	-----------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 効果的な雇用創出等が期待できる企業を呼び込む。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・これまで訪問してきた道外企業との交流関係を維持するため企業訪問を行い、企業が立地先に求める条件などの情報収集に努めるとともに、市のニーズにマッチする企業を探していく。 ・北海道に進出計画のある企業を訪問し、企業立地のPRを行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市企業立地振興条例	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市内外の企業

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円				
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	487	446	499	182	777
	合計		487	446	499	182	777

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 北海道に進出計画のある企業やこれまで訪問してきた企業を訪問し、市内遊休地や立地に関する優遇制度の紹介を行った。 【事業内容】 ・企業訪問 平成28年度実績 3件（訪問地域：東京都・神奈川県） ・企業誘致関連会議への参加 1回 ○日程 平成28年12月20日（火） ○場所 札幌（赤れんが庁舎）						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	訪問及び支援件数	件	5	5	4	3	3	
立地及び増設件数	件	0	1	0	0	1		

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 誘致対象企業の新たな獲得
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・企業誘致は短期間で成果が出るような簡単なものではないため、これまで訪問してきた企業については、今後も2年に1回程度は顔つなぎのために訪問していきながら情報収集に努める。 ・誘致対象企業を新たに獲得するため、異業種交流会等に参加する。	目標 効果的な雇用創出等が期待できる企業を呼び込む。 計画 ・これまで訪問してきた道外企業との交流関係を維持するため企業訪問を行い、企業が立地先に求める条件などの情報収集に努めるとともに、市のニーズにマッチする企業を探していく。 ・北海道に進出計画のある企業を訪問し、企業立地のPRを行う。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 **ものづくり創出支援事業負担金**

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 15 年度
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	2	市内産業を担う新たな企業の創出	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	新分野進出と新産業創出の支援	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 市内における新製品、新技術の創出や市場開拓に向けた活動を支援することにより、地域経済の活性化を図ることを目的とする。

前回評価 **維持**

Plan 概要

目標 (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)
市内において企業が新製品の開発や市場開拓に向けた活動等がしやすい環境を整える。

計画 (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)
・広報やホームページなどにより補助制度の周知を行い、市内中小企業等のものづくり創出支援事業補助金の活用を促す。

根拠 (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)
ものづくり創出支援事業補助金取扱要綱

対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)
中小企業者等

Plan 事業費 (財源内訳)

名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金	千円	2,000	1,103			
道支出金	千円					
地方債	千円					
その他	千円					
一般財源	千円	3,000	3,000	3,000	2,720	3,000
合計		5,000	4,103	3,000	2,720	3,000

Do 事務事業の成果・改善の状況

平成28年度

(実績を簡潔に記入してください)
公益財団法人室蘭テクノセンターが実施する「ものづくり創出支援事業」に対して、市内中小企業等が活用した事業に係る経費を負担した。
【実績】6件 2,720千円
【内訳】
・開発の芽育成支援事業 2件 1,760千円
・商品化推進支援事業 2件 266千円
・市場開拓支援事業 2件 694千円

指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
市内事業者からの申請件数	件	5	7	11	6	6
市内事業者からの採択件数	件	5	7	11	6	6

Check 課題等の状況

平成28年度

(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
新規活用事業者の掘り起し

評価

【1次評価】	継続	今後の取組【Action】 担当グループ ・新規活用事業者の掘り起しのため、広報等を活用し、当該事業の更なる認知度向上を図る。	今後の目標・計画【Plan】 目標 引き続き、当該事業に係る経費負担を継続することで、市内における企業の新製品の開発やその市場開拓に向けた活動等がしやすい環境を整える。 計画 ・広報やホームページなどにより補助制度の周知を行い、市内中小企業等のものづくり創出支援事業補助金の活用を促す。
【2次評価】	継続	行政評価会議	
【3次評価】		総合	

事務事業名 再生可能エネルギー普及促進事業

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 25 年度
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	活力ある市内企業の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	4	にぎわい溢れる商業の振興	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市民や事業者等の再生可能エネルギーに対する理解促進を図るとともに、市内における未利用エネルギーの利活用に向けた可能性を探ることにより、新たな産業として市内経済の活性化を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市民や市内事業者の再生可能エネルギーに関する知識を深める。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・西いぶり定住自立圏形成協議会と連携し、再生可能エネルギーに関する講演会を開催する。 ・ネイチャーセンターの水路に小水力発電装置を設置し、環境学習を行う。 ・市内小学校での再生可能エネルギーに関する取組を紹介するパネル展を開催する。 ・本市における、再生可能エネルギーを利用した取組の可能性について調査・研究を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民、市内事業者等

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	307	89	795	532	328
合計			307	89	795	532	328

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	西いぶり定住自立圏形成協議会と連携し、講演会を開催したほか、再生可能エネルギーに関する各種事業を行った。 【事業実績】 ・講演会の開催：1回（参加者72人） ・市内における再生可能エネルギー紹介する冊子の更新 ・市内小学校でのパネル展の開催：6回 ・小水力発電装置を活用した環境学習の実施 ・研修会等への出席					
	指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	再生可能エネルギー講演会の参加者数	人	139	78	75	72	100

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・本市は過去の国による調査結果から、地熱資源のポテンシャルが高いと思われるが、温泉事業者に地熱資源開発への懸念があるため、引き続き市民や事業者理解を深めてもらう必要がある。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	市民や事業者の再生可能エネルギーへの関心を高め、普及促進を図るため継続して事業を実施していく。	目標 市民や市内事業者の再生可能エネルギーに関する知識を深める。 計画 ・西いぶり定住自立圏形成協議会と連携し、再生可能エネルギーに関する講演会を開催する。 ・小水力発電装置を活用し、環境学習を行う。 ・市内小学校での再生可能エネルギーに関する取組を紹介するパネル展を開催する。 ・本市における、再生可能エネルギーを利用した取組の可能性について調査・研究を行う
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 高校生就職フォローアップ事業費

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 14 年度
施策	2	雇用の安定と快適な就業環境づくりの推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	生涯を通して働ける環境づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	雇用情報の提供やキャリア教育の推進等による就業の促進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	進路選択を控えた高校生に、就職応援講座や就業体験などを支援することで、勤労観や職業観の醸成を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 就職を希望する高校生全員の就職決定	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・登別市・室蘭市・伊達市の三市合同で、就業の適性把握や就職活動の心構えなどの就職応援講座等を実施する。 ・市内の高校に在学する生徒を対象に、高校やハローワーク、商工会議所などの関係機関と連携し、地元企業の協力を得ながらインターンシップ事業（就業体験）を実施する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 高校生

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		172	144	172	172	172
合計				172	144	172	172	172

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ・登別市・室蘭市・伊達市の三市合同で、就業の適性把握や就職活動の心構えなどの就職応援講座等を実施した。 ・市内の高校に在学する生徒を対象に、高校やハローワーク、商工会議所などの関係機関と連携し、地元企業の協力を得ながらインターンシップ事業（就業体験）を実施した。 【就職応援講座等事業実績】 ・高校3年生向け就職応援講座（3会場開催） 参加者数71人 ・高校2年生向けキャリア教育講座（3会場開催） 参加者数76人 【インターンシップ事業実績】 ・一般企業…参加者数 96人、受入企業数 32事業所 ・看護体験…参加者数 18人、受入病院数 5病院					
	指標		単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績
新規高卒者の就職率（ハローワーク室蘭管内）		%	99.6	100	98.7	100	100
就職応援講座参加人数		人	156	77	89	147	160

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 道内における新規高卒就職者の離職率は全国平均を上回る状況にあり、就職率の向上に加え、就職のミスマッチ防止や定着率の向上を図る必要がある。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	高校生の勤労観、職業観の醸成を図り、自らの意志のもと目的意識を持って進路を選択・決定できるよう、進学希望者も対象に含めた就職応援講座や就業体験を継続して実施する。	目標 就職を希望する高校生全員の就職決定
	【2次評価】	行政評価会議	計画 ・登別市・室蘭市・伊達市の三市合同で、就業の適性把握や就職活動の心構えなどの就職応援講座等を実施する。 ・市内の高校に在学する生徒を対象に、高校やハローワーク、商工会議所などの関係機関と連携し、地元企業の協力を得ながらインターンシップ事業（就業体験）を実施する。
【3次評価】	総合		

事務事業名 若年者等キャリアカウンセリング事業

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 23 年度
施策	2	雇用の安定と快適な就業環境づくりの推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	生涯を通して働ける環境づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	雇用情報の提供やキャリア教育の推進等による就業の促進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	若年者等が自主的・積極的に就職活動ができるよう、カウンセリングを実施することにより、就職活動等で抱える不安や悩みなどの解消を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 若年者等が自主的・積極的に就職活動ができるよう、カウンセリングを実施することにより、就職活動等で抱える不安や悩みなどの解消を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 就職を希望する若年者や未就職卒業者等を対象に、キャリアカウンセラーによる個別の相談やセミナーを実施する。 ・キャリアカウンセラーによる個別の就職相談の実施（昼間相談：週3日、夜間相談（予約制）：週5日） ・キャリア形成等に関するセミナーの開催（年間6回）	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) ・就職・転職活動中の方 ・就職・転職活動で悩みを抱えている方

事業費（財源内訳）	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	3,804	3,804	3,772	3,770	3,759
合計			3,804	3,804	3,772	3,770	3,759

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 就職を希望する若年者や未就職卒業者等を対象に、キャリアカウンセラーによる個別の相談やセミナーを実施した。 【事業実績】 ・個別相談（面談）人数 132人 ・個別相談（面談）件数 延べ134回 ・就職支援セミナー 6回開催、8人参加						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		面談件数	件	126	227	204	134	210

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 就職を希望する若年者や未就職卒業者等を対象に、キャリアカウンセラーによる個別の相談やセミナーへの参加増を図り、就職のミスマッチ防止や定着率の向上を図る必要がある。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	就職のミスマッチ防止を図り、就職を希望する若年者等が適職に就くことができるよう、今後も継続して事業を実施する。	目標 若年者等が就職活動等で抱える不安や悩みなどを解消し、自主的・積極的に就職活動の推進を図る。 計画 就職を希望する若年者や未就職卒業者等を対象に、キャリアカウンセラーによる個別の相談やセミナーを実施する。 ・キャリアカウンセラーによる個別の就職相談の実施 ・キャリア形成等に関するセミナーの開催
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	継続	総合	

事務事業名 雇用対策救済事業

区分	No.	名称	部・グループ
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	観光経済部商工労政G
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	会計種別 一般会計
施策	2	雇用の安定と快適な就業環境づくりの推進	開始年度 昭和 54 年度
基本的な方向	1	生涯を通して働ける環境づくり	終了年度 平成 ー 年度
主要な施策	1	雇用情報の提供やキャリア教育の推進等による就業の促進	事業区分 ソフト事業
			大型事業推進プラン 非登載事業

目的	季節労働者の通年雇用化を促進するとともに、冬期就業の機会を確保し、就労の安定を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 公共施設の清掃（通年）及び除雪等（冬期）の業務を季節労働者等で組織する企業組合に委託することにより、季節労働者等の安定就労を図る。	
	計画	公共施設の清掃（通年）及び除雪等（冬期）の業務を季節労働者等で組織する企業組合に委託することにより、季節労働者等の安定就労に取り組んだ。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 季節労働者等

事業費（財源内訳）	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	27,574	20,813	27,516	22,274	27,547
合計			27,574	20,813	27,516	22,274	27,547

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 公共施設の清掃（通年）及び除雪等（冬期）の業務を季節労働者等で組織する企業組合に委託することにより、季節労働者等の安定就労に取り組んだ。 【事業実績】 ・公共施設清掃分（延べ人工 4,371人工・実人数 42人） ・冬季除雪等分（延べ人工 609人工・実人数 67人）						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		公共施設清掃等及び除雪作業に従事した実人数	人	130	88	104	109	140

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 降雪量の減少により除雪の業務が減少していることから、冬期における就労機会の確保を図る必要がある。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	公共施設の清掃（通年）及び除雪等（冬期）の業務を季節労働者等で組織する企業組合に委託する。	目標 季節労働者等の安定就労を図る。 計画 ・公共施設の清掃（通年）及び除雪等（冬期）の業務を季節労働者等で組織する企業組合に委託することにより、季節労働者等の安定就労に取り組む。 ・冬期は、降雪量の減少により除雪の業務が減少していることから、除雪のほか、道路交通環境の整備に係る作業及び市民や観光客の利便性向上に係る作業を企業組合に委託し、就労機会の確保を図る。
	【2次評価】	行政評価会議	
継続	【3次評価】	総合	

事務事業名 地域職業相談室運営管理経費

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 19 年度
施策	2	雇用の安定と快適な就業環境づくりの推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	生涯を通して働ける環境づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	雇用情報の提供やキャリア教育の推進等による就業の促進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	求職活動を行う市民に職業紹介や職業相談を実施することにより、その利便性向上と就職の促進を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 求職活動を行う市民に職業紹介や職業相談を実施することにより、利便性の向上と就職の促進を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ハローワーク室蘭と連携し、地域職業相談室を運営する。 ・職業紹介及び相談時間 10時00分～17時00分（土・日曜日、祝日、年末年始を除く）	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 求職活動を行う市民

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		2,966	2,933	2,625	2,539	2,613
合計				2,966	2,933	2,625	2,539	2,613

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 登別中央ショッピングセンター・アーニスの2階に設置した登別市地域職業相談室（ジョブガイドのぼりべつ）の管理運営を行った。 【事業実績】 ・利用者数 11,240人 ・相談件数 3,562件						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		地域職業相談室来室者数	人	16,460	14,048	11,659	11,240	12,500
		就職件数	件	761	704	565	645	800

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 特になし
--------	--------	------------------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	ハローワーク室蘭と連携し、登別中央ショッピングセンター・アーニスの2階に設置した登別市地域職業相談室（ジョブガイドのぼりべつ）において職業紹介や職業相談を実施する。	目標 市民が求職活動を行う際の利便性向上を図る。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 引き続き、ハローワーク室蘭と連携し、登別中央ショッピングセンター・アーニスの2階に設置した登別市地域職業相談室の管理運営を行う。 ・職業紹介及び相談時間 10時00分～17時00分（土・日曜日、祝日、年末年始を除く）
【3次評価】	総合		

事務事業名 労働相談事業助成金

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成4年度
施策	2	雇用の安定と快適な就業環境づくりの推進	終了年度	平成1年度
基本的な方向	1	生涯を通して働ける環境づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	労働環境の向上と勤労者福祉の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	労働問題を抱える市民の相談に応じ、適切な助言や指導等を行うことにより、労働環境の改善及び雇用の安定確保等を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 労働問題を抱える市民の相談に応じ、適切な助言や指導等を行うことにより、労働環境の改善及び雇用の安定確保等を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 連合北海道登別地区連合会が行う労働相談事業に対して、実施に要する経費の一部を助成する。 ・相談日時 月～金曜日 10時～16時（予約制） ・場所 連合北海道登別地区連合会事務所 ・その他 月2回、鉄南ふれあいセンターで相談を実施（予約制） 労働相談事業の周知活動の実施 労働相談に対応するための学習会の開催	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市補助金等の事務取扱に関する規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 連合北海道登別地区連合会

事業費 (財源内訳)	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	千円					
	道支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
合計			1,000	1,000	1,000	1,000	1,000

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 連合北海道登別地区連合会が行う労働相談事業に対して、実施に要する経費の一部を助成した。 【事業実績】 ・労働相談件数 9件 ・対応人員 延べ24人 ・市内大型商業施設前において街頭啓発活動を実施 1回（啓発チラシ300枚配布） ・公共交通機関の時刻表に労働相談事業実施案内を掲載 1回 ・講師に専門家を招き労働相談業務に対応するための学習会を開催 1回					
	指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	労働相談件数	件	18	14	12	9	20

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点を記入してください) 連合北海道登別地区連合会が労働相談事業を行っていることを認識している人が少ない。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	労働問題に関して専門機関があることは、労働者の労働環境を向上させる上で必要なことであることから、引き続き事業を支援し、その充実を図る。また、より多くの市民に連合北海道登別地区連合会が労働相談事業を行っていることを認識してもらうため、街頭啓発等の周知活動を強化する。	労働問題を抱える市民の相談に応じ、適切な助言や指導等を行うことにより、労働環境の改善及び雇用の安定確保等を図る。労働問題を抱えながら相談できない市民を減らすため、街頭啓発活動等による事業の周知活動の強化を図る。
	【2次評価】	行政評価会議	労働相談体制の充実を図るため、連合北海道登別地区連合会が行う労働相談事業に対して、実施に要する経費の一部を助成する。 ・相談日時 月～金曜日 10時～16時（予約制） ・場所 連合北海道登別地区連合会事務所 ・その他 月2回、鉄南ふれあいセンターで相談を実施（予約制） 労働相談事業の周知活動の実施 労働相談に対応するための学習会の開催 DM等を活用した周知活動の実施
【3次評価】	総合		

事務事業名 勤労者特別融資制度

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 3 年度
施策	2	雇用の安定と快適な就業環境づくりの推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	生涯を通して働ける環境づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	労働環境の向上と勤労者福祉の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市内に居住する勤労者に対して、生活上必要な資金を低利で融資することにより、勤労者の生活の安定と福祉の向上を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 勤労者の生活の安定と福祉の向上を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 市内に居住する勤労者が低利の融資を受けられるよう、市が融資の原資となる積立金を北海道労働金庫に預託する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市勤労者特別融資規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市内に居住する勤労者

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金			千円				
道支出金			千円					
地方債			千円					
その他	勤労者特別融資積立金繰入金		千円	13,000	7,000	12,000	6,000	12,000
一般財源			千円					
合計				13,000	7,000	12,000	6,000	12,000

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 市内に居住する勤労者が低利の融資を受けられるよう、市が融資の原資となる積立金を北海道労働金庫に預託した。 【資金種別】 ・生活資金（一般）：1件あたり貸付限度額100万円、償還期間10年以内、利率2.28% ・生活資金（特別）：1件あたり貸付限度額30万円、償還期間3年以内、利率1.00% ・教育資金：1件あたり貸付限度額300万円、償還期間10年以内 利率1.94%						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		融資申請件数（当該件数）	件	0	0	1	0	3
		融資実行件数（当該件数）	件	0	0	1	0	3

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 融資制度の利用者が少ない。 教育資金については、奨学金や他の教育ローンなど低利の制度があり、利率について検討する必要がある。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	市内に居住する勤労者が低利の融資を受けられるよう、市が融資の原資となる積立金を北海道労働金庫に預託する。	目標 勤労者の生活の安定と福祉の向上を図る。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 市内に居住する勤労者が低利の融資を受けられるよう、市が融資の原資となる積立金を北海道労働金庫に預託する。
【3次評価】	総合		

事務事業名 **労働福祉センター運営管理経費**

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	昭和 49 年度
施策	2	雇用の安定と快適な就業環境づくりの推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	生涯を通して働ける環境づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	労働環境の向上と勤労者福祉の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	労働者及びその団体の福祉増進と文化の向上に寄与することを目的とする。	前回評価
----	------------------------------------	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 労働者及びその団体の福祉増進と文化の向上に寄与するため、登別市労働福祉センターを設置する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 登別市労働福祉センターの運営管理を行う。 ・公益社団法人登別市シルバー人材センターを指定管理者に選定（指定期間：平成28年度～平成32年度）。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市労働福祉センター条例、登別市労働福祉センター条例施行規則、登別市労働福祉センターの管理に関する協定書	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 労働者及びその団体

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他	行政財産使用料	千円	131	116	109	107	112
一般財源		千円	6,303	6,275	5,994	5,994	5,990
	合計		6,434	6,391	6,103	6,101	6,102

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 登別市労働福祉センターの運営管理を行う。 ・公益社団法人登別市シルバー人材センターを指定管理者に選定（指定期間：平成28年度～平成32年度）。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		労働福祉センター利用者数	人	23,288	17,769	14,620	15,428	17,000

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・経年により、施設の老朽化が進行している。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	労働者及びその団体の福祉増進と文化の向上に寄与するため、引き続き登別市労働福祉センターを設置し、年次的に修繕しながら運営管理を行う。	目標 労働者及びその団体の福祉増進と文化の向上に寄与するため、登別市労働福祉センターを設置する。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 登別市労働福祉センターの運営管理を行う。 ・公益社団法人登別市シルバー人材センターを指定管理者に選定（指定期間：平成28年度～平成32年度）。
【3次評価】	総合		

事務事業名 婦人センター運営管理経費

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	昭和 53 年度
施策	2	雇用の安定と快適な就業環境づくりの推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	生涯を通して働ける環境づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	労働環境の向上と勤労者福祉の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	勤労婦人及び家庭婦人の福祉増進及び文化向上を図ることを目的とする。	前回評価	
----	-----------------------------------	------	--

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 勤労婦人及び家庭婦人の福祉増進及び文化向上を図るため、登別市婦人センターを設置する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・登別市婦人センターの運営管理を行う。 ・出産や育児、介護等により退職した就労意欲のある女性を対象に、再就職に備えた心構えや必要な基礎知識の習得を目指した再就職準備講座など、婦人センター講座を実施する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市婦人センター条例、登別市婦人センター条例施行規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 勤労婦人及び家庭婦人

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金			千円				
道支出金			千円					
地方債			千円					
その他	婦人センター使用料、行政財産使用料、電話使用料		千円	731	698	908	842	920
一般財源			千円	4,265	3,235	3,487	2,763	3,171
	合計			4,996	3,933	4,395	3,605	4,091

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ・登別市婦人センターの運営管理を行う。 ・出産や育児、介護等により退職した就労意欲のある女性を対象に、再就職に備えた心構えや必要な基礎知識の習得を目指した再就職準備講座など、婦人センター講座を実施する。 【婦人センター講座事業実績】 ・介護サービス人材確保対策事業 参加者数3人 ・ワーク・ライフ・バランス実践講座 参加者数17人						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		婦人センター講座参加者数	人	35	40	28	20	54

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 婦人センター講座の開催時期が冬季となったことから、参加しやすい時期の開催を検討する必要がある。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・登別市婦人センターの運営管理を行う。 ・出産や育児、介護等により退職した就労意欲のある女性を対象に、再就職に備えた心構えや必要な基礎知識の習得を目指した再就職準備講座など、婦人センター講座を実施する。	目標 勤労婦人及び家庭婦人の福祉増進及び文化向上を図るため、登別市婦人センターを設置する。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 ・登別市婦人センターの運営管理を行う。 ・出産や育児、介護等により退職した就労意欲のある女性等を対象に、就職に備えた心構えや必要な基礎知識の習得を目指した講座など、婦人センター講座を秋季までに実施する。 【実施予定講座】 ・ワーク・ライフ・バランス実践講座 ・介護サービス人材確保対策事業（就労促進事業） ・健康料理教室
【3次評価】	総合		

事務事業名 雇用・労働に係る調査啓発

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 年度
施策	2	雇用の安定と快適な就業環境づくりの推進	終了年度	平成 年度
基本的な方向	1	生涯を通して働ける環境づくり	事業区分	
主要な施策	2	労働環境の向上と勤労者福祉の充実	大型事業推進プラン	

目的	市内企業における従業員の雇用実態と動向を把握し、労働施策を推進するための基本資料とするため、労働諸条件を調査する「労働基本調査」の実施や結果公表を通し、労働法制の周知・啓発や労働条件の向上を図ることを目的とする。	前回評価	
----	--	------	--

概要	目標	労働諸条件を調査する「労働基本調査」の実施や結果公表を通し、労働法制の周知・啓発や労働条件の向上を図る。		
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 市内企業を対象に、正規従業員やパートタイマーの労働諸条件（賃金、一時金、労働時間、年次有給休暇、定年、再雇用、退職金など）を隔年（奇数年度）で調査する「労働基本調査」を実施する（次回調査予定：平成29年度）。		
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 市内企業

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		50	26	0	0	59
	合計			50	26	0	0	59

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 平成28年度は偶数年度のため、労働基本調査は実施していない。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		労働基本調査回答率	%	42.6	-	34.0	-	50.0

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 特になし
--------	--------	------------------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	引き続き、市内企業を対象に、正規従業員やパートタイマーの労働諸条件（賃金、一時金、労働時間、年次有給休暇、定年、再雇用、退職金など）を隔年（奇数年度）で調査する「労働基本調査」を実施する（次回調査予定：平成29年度）。	市内企業における従業員の雇用実態と動向を把握し、労働施策を推進するための基本資料とするため、労働基本調査における市内企業からの回答率の向上を図る。
	【2次評価】	行政評価会議	市内企業を対象に、正規従業員やパートタイマーの労働諸条件（賃金、一時金、労働時間、年次有給休暇、定年、再雇用、退職金など）を隔年（奇数年度）で調査する「労働基本調査」を実施する（次回調査予定：平成29年度）。
【3次評価】	総合		

事務事業名 **事業内職業訓練助成金**

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	昭和 52 年度
施策	2	雇用の安定と快適な就業環境づくりの推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	産業を担う人材の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	職業能力の向上・開発の支援	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	登別職業訓練協会が実施する事業内職業訓練の運営を支援することにより、市内企業で働く技能労働者の育成を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	-----------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 登別職業訓練協会が実施する事業内職業訓練の運営を支援することにより、市内企業で働く技能労働者の育成を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 職業能力開発促進法に基づく事業内職業訓練事業を実施している登別職業訓練協会に助成金を交付する。 【職業訓練課程】 ・ 2年間（木造建築科、建築板金科、建築塗装科、建築設計科） ・ 1年間（経理事務科、OAシステム科）	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市補助金等の事務取扱に関する規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 職業訓練法人登別職業訓練協会

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		2,100	2,100	2,100	2,100	2,100
合計				2,100	2,100	2,100	2,100	2,100

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 職業能力開発促進法に基づく事業内職業訓練事業を実施している登別職業訓練協会に助成金を交付した。 【修了者数】 ・ 木造建築科 0人、建築板金科 3人、建築塗装科 0人、建築設計科 0人、経理事務科 0人、OAシステム科 0人						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		受講者数	人	5	4	2	3	5

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 技能労働者の育成に取り組むため、受講者の増を図る。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】 目標
	継続	引き続き、登別職業訓練協会が実施する事業内職業訓練の運営を支援する。	登別職業訓練協会が実施する事業内職業訓練の運営を支援することにより、人材の育成や技能や技術の継承により地場産業の振興を図る。
	【2次評価】	行政評価会議	計画
継続			職業能力開発促進法に基づく事業内職業訓練事業を実施している登別職業訓練協会に助成金を交付する。 【職業訓練課程】 ・ 2年間（木造建築科、建築板金科、建築塗装科、建築設計科） ・ 1年間（経理事務科、OAシステム科）
【3次評価】	総合		

事務事業名	日本工学院北海道専門学校連携事業
-------	------------------

区分	No.	名称	部・グループ	総務部総務G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活気に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 28 年度
施策	2	雇用の安定と快適な就業環境づくりの推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	産業を担う人材の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	職業能力の向上・開発の支援	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	日本工学院北海道専門学校と連携・協力することにより、同校スタッフの高度な専門的知識や学生の活力をまちづくりに活用し、個性豊かな地域社会の形成・発展や未来を担う人材の育成、さらに市民の教育・文化活動の振興などを図ることを目的とする。	前回評価
----	---	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 包括連携協定に基づき、同校の学生確保の取組等に対し支援を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・4月に同校が実施する広報活動や施設管理に関する取組に係る補助金交付申請を受け、内容精査のうえ交付決定する。 ・上記取組の終了後に実施内容を精査し、補助金を交付する。 ・市バスのラッピングデザインを同校学生に依頼する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 平成27年9月1日学校法人片柳学園との包括連携協定書	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)

事業費 (財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
	道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源		千円			2,750	2,538	8,690
合計				0	0	2,750	2,538	8,690

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 平成27年9月1日に締結した包括連携協定に基づき、本市のまちづくり活動の推進のほか同校が行う学生の確保に関する取組や学校の魅力アップに対する取組等に対し連携を行う。 ○4月に同校が実施する広報活動や施設管理に関する取組に係る補助金交付申請を受け、内容精査の交付決定した。 ・学生確保に向けたポスターや動画の作成 ・体育施設の内壁修繕、簡易水道使用料の一部 ○上記取組の終了後に補助金を交付した。 ○市バス2台のラッピングデザインを同校学生に依頼し、そのデザインのラッピングを施した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	新入学生	人	270	263	229	159	236	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
--------	--------	----------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	拡大	引き続き包括連携協定に基づき支援を行う。また、平成29年度から、「観光ビジネスコース」留学生の寮費相当額の補助を行う。	目標
	【2次評価】	行政評価会議	計画
【3次評価】	拡大	総合	

事務事業名 観光ホスピタリティ推進事業補助金

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 元 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	国内外の観光客に優しい観光地づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	温かいおもてなしの心の醸成	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	登別市観光ホスピタリティ推進協会が行う事業を支援することにより、地域ぐるみで観光客をもてなす魅力ある観光地づくりの推進を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

P l a n 概 要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 登別市観光ホスピタリティ推進協会が行う事業を支援し、魅力ある観光地づくりを推進する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 観光ボランティアガイド活動などに取組む、登別市観光ホスピタリティ推進協会の活動を支援する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別市観光ホスピタリティ推進協会

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金			千円				
道支出金			千円					
地方債			千円					
その他			千円					
一般財源			千円	900	900	900	900	900
	合計			900	900	900	900	900

D o c u m e n t 事 務 事 業 の 成 果 ・ 改 善 の 状 況	平 成 2 8 年 度	(実績を簡潔に記入してください) 登別市観光ホスピタリティ推進協会が行う観光ボランティアガイド活動などの観光ホスピタリティ事業等に対し、その要する経費の一部を補助した。 【登別市観光ホスピタリティ推進協会の実施事業】 自然観察事業（橘湖散策会・植物観察会）、観光ボランティア支援事業（観光ボランティアガイド活動費等）、「我が街再発見観光市民講座」の実施						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		ガイド実績（総案内人数）	人	3,825	3,309	5,064	4,628	6,000
観光入込客数（年間）	千人	3,346	3,536	3,913	3,851	4,400		

C h e c k 課 題 等 の 状 況	平 成 2 8 年 度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 事業実施中に不断の事務改善を検討、実施しておりますが、事業内容に変更はない。
---	----------------------------	--

評 価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	事業の実施により、当市の観光ホスピタリティ向上に資することから、今後も事業を継続することが相当である。	目標 登別市観光ホスピタリティ推進協会が行う事業を支援し、魅力ある観光地づくりを推進する。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 【登別市観光ホスピタリティ推進協会の実施事業】 ・自然観察事業（橘湖散策会・植物観察会） ・観光ボランティア支援事業（観光ボランティアガイド活動費等） ・「我が街再発見観光市民講座」の実施
【3次評価】	総合		

事務事業名 「市民が育む登別観光」事業

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 26 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	国内外の観光客に優しい観光地づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	温かいおもてなしの心の醸成	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市民に登別地獄まつり鬼踊りへの参加や日帰り入浴を促すことにより、「観光都市のぼりべつ」の一員として意識や一体感を高めることを目的とする。	前回評価	改善
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 「観光都市のぼりべつ」の一員としての意識や一体感の醸成に向け、持続可能な事業内容検討について連合町会や（一社）登別観光協会との協議を継続すること。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・登別地獄まつり「鬼踊り」参加促進事業 ・登別市内温泉ホテル、旅館の利用促進事業	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		2,225	1,903	2,225	2,158	2,220
	合計			2,225	1,903	2,225	2,158	2,220

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 第54回登別地獄まつり鬼踊りの市民参加を促進するため、事業に取り組んだ。 【事業実績】 ・登別地獄まつり「鬼踊り」参加促進事業 各町内会で登別地獄まつり鬼踊りに参加した市民に日帰り入浴券1,000円分を交付。 ・登別市内温泉ホテル、旅館の利用促進事業 各町内会行事において、登別市内の温泉ホテル・旅館を利用する場合額の利用券を交付。 H28以降のカルルス温泉宿泊助成と鬼踊り参加者への入浴助成を切り分けるよう検討を行った。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		鬼踊り参加者数	人	641	394	302	383	400
		登別市内温泉ホテル・旅館の利用促進事業	件	28	24	46	44	50

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・登別地獄まつり「鬼踊り」参加者、市内温泉ホテル・旅館の利用促進事業、いずれについても実績が前年度を上回り、事業目的が概ね達成された。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ 事業実施により、登別観光に対する市民意識醸成に資することから、事業を継続する。	今後の目標・計画【Plan】 目標 実績に鑑み、平成30年度以降の事業内容について、連合町内会や（一社）登別観光協会と協議を継続する。 計画 ・登別地獄まつり「鬼踊り」参加促進事業 ・登別市内温泉ホテル、旅館の利用促進事業
	継続	行政評価会議	
	【2次評価】	総合	
【3次評価】			

事務事業名 観光施設維持管理経費

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	昭和 45 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	国内外の観光客に優しい観光地づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	安全安心な観光施設の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 国立公園内にある各観光施設の維持管理や美化清掃を行うことにより、観光客に快適に利用していただくことを目的とする。

前回評価 維持

Plan 概要

目標 (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)

計画 (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)
 ・国立公園内の清掃美化に取り組む一般財団法人自然公園財団登別支部に国立公園清掃活動費補助金の交付
 ・カルルス温泉駐車場清掃業務の委託

根拠 (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記す)
 自然公園法 観光客

31312006 国立公園清掃活動事業補助金500千円を含む

事業費(財源内訳) Plan D.O.

名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金	千円					
道支出金	千円					
地方債	千円					
その他	千円	63	63	63	63	63
一般財源	千円	3,481	3,401	3,164	1,901	3,114
合計		3,544	3,464	3,227	1,964	3,177

事務事業の成果・改善の状況 Do.

平成28年度 (実績を簡潔に記入してください)
 【事業実績】観光施設に関する土地（大湯沼駐車場敷地等）の賃借、カルルス温泉駐車場の清掃業務委託、（一財）自然公園財団登別支部への国立公園内清掃活動費補助金の交付を行った。

指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
観光入込客数（年間）	千人	3,346	3,536	3,913	3,851	4,400
宿泊延数（年間）	千人	1,211	1,214	1,284	1,279	1,400

課題等の状況 Check

平成28年度 (事務事業の実施における課題点等を記入してください)
 事業実施中に不断の事務改善を検討、実施しておりますが、事業内容に変更はない。

評価

【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
継続	観光客が快適にかつ安全に利用できる施設として、市が整備した、または契約・協定等により市が管理することとしている施設については、市が主体となって管理する。	目標 観光客が快適にかつ安全に利用できる施設として、市が整備した、または契約・協定等により市が管理することとしている施設については、市が主体となって管理する。
【2次評価】	行政評価会議	計画 ・国立公園内の清掃美化に取り組む（一財）自然公園財団登別支部に国立公園清掃活動費補助金の交付 ・カルルス温泉駐車場清掃業務の委託
継続		
【3次評価】	総合	

事務事業名 地獄谷木道改修事業

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 26 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 年度
基本的な方向	1	国内外の観光客に優しい観光地づくり	事業区分	ハード事業
主要な施策	2	安全安心な観光施設の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	多くの観光客が利用している地獄谷の木道を改修、観光客に安心・安全に利用していただくことを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 硫黄や風雪雨による劣化が進行している鉄泉池遊歩道の一部改修を実施する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 鉄泉池遊歩道の腐食が進んだ床板及び手摺等の取替	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 地獄谷遊歩道

名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金		千円					
道支出金	自然公園等整備事業補助金	千円	6,697	6,555	8,500	7,171	
地方債		千円	4,700	4,700	6,300	5,300	
その他	観光開発基金積立金繰入金	千円					
一般財源		千円	1,998	1,857	2,200	1,872	0
合計			13,395	13,112	17,000	14,343	0

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 地獄谷の木道は平成2年に市が設置後、これまで自然公園財団の協力を得ながら小規模修繕を行い維持管理を行ってきたが、近年、硫黄や風雪雨による劣化が進行していることから、鉄泉池遊歩道一部の改修を実施。 【実施事業】 ・腐食が進んだ床板及び手摺等の取替						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		観光入込客数（年間）	千人	3,346	3,536	3,913	3,851	4,400
	宿泊延数（年間）	千人	1,211	1,214	1,284	1,279	1,400	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・利用者の増加に伴い、今後修繕の頻度が多くなることが予想されるため、安定的な財源確保が必要。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	休止	観光客が快適にかつ安全に利用できる施設として、市が整備した施設については、市が主体となって管理する。なお、他施設の修繕計画を考慮し、今後未改修部分の整備を行う。	目標 観光客が快適にかつ安全に利用できる施設として、市が整備した施設については、市が主体となって管理する。 計画 鉄泉池遊歩道の腐食が進んだ床板及び手摺等の取替改修を実施する。
	平成29年度	行政評価会議	
【2次評価】	休止	総合	
【3次評価】			

事務事業名 大湯沼川探勝歩道、天然足湯広場改修事業

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 27 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 28 年度
基本的な方向	1	国内外の観光客に優しい観光地づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	安全安心な観光施設の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	多くの観光客が利用している大湯沼川探勝歩道や天然足湯広場の木道を改修、観光客に安心・安全に利用していただくことを目的とする。	前回評価	終了
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 階段や木道、木製ベンチ等の腐食、老朽化が進んでいることから、大湯沼川探勝歩道の一部改修を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・木橋、木組み階段の改修。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 大湯沼川探勝歩道、天然足湯広場

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金			千円				
道支出金	自然公園等整備事業補助金		千円	6,637	6,226	5,000	3,952	
地方債			千円			3,700	2,900	
その他	観光開発基金積立金繰入金		千円		5,000			
一般財源			千円	6,638	1,227	1,300	1,054	
	合計			13,275	12,453	10,000	7,906	0

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 大湯沼川探勝歩道、天然足湯広場の階段や木道、木製ベンチ等の腐食や老朽化が進んでいることから改修を行った。 【実施事業】 ・木道の床板、床梁等の改修						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		観光入込客数(年間)	千人	3,346	3,536	3,913	3,851	4,400
	宿泊延数(年間)	千人	1,211	1,214	1,284	1,279	1,400	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
--------	--------	----------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	終了		目標
	平成28年度	行政評価会議	計画
【2次評価】	終了	総合	
【3次評価】			

事務事業名 **観光施設維持管理委託料**

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 28 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	国内外の観光客に優しい観光地づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	安全安心な観光施設の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 国立公園内にある各観光施設の安全確保を行い、観光客に快適に利用していただくことを目的とする。

前回評価

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 観光客が快適にりようできるよう、国立公園内にある各観光施設について、(一社)登別観光協会への委託により、維持管理を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 地獄谷遊歩道コンクリート補修 地獄谷周辺遊歩道階段修理 地獄谷周辺遊歩道手摺修理 大湯沼トイレ補修等	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 国立公園内の各観光施設

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円			1,000	1,000	1,000
合計			0	0	1,000	1,000	1,000

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 観光客が快適に利用できるよう、国立公園内にある各観光施設について、(一社)登別観光協会への委託により維持管理を行った。 【修繕実施】 地獄谷遊歩道コンクリート補修 地獄谷周辺遊歩道階段修理 地獄谷周辺遊歩道手摺修理 大湯沼トイレ補修等						
		H27年度までは観光施設維持管理経費で小破修繕、原材料費により補修していたが、平成28年度から観光室の事務所移転に伴い観光協会に管理を委託した。小破修繕、原材料費を含め100万円を委託料とした。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		国立公園内事故報告件数	件	0	0	0	0	0
		施設維持管理補修件数	件	6	3	9	7	10

課題等の状況 平成28年度 事業実施中に不断の事務改善を検討、実施しておりますが、事業内容に変更はない。

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ 事業の実施により、より迅速に、国立公園内にある各観光施設の維持管理を行うことができるため、今後も事業を継続する。	今後の目標・計画【Plan】 目標 観国立公園内にある各観光施設を観光客が快適にかつ安全に利用できるよう、より迅速な維持管理を実施する。
	継続	行政評価会議	計画 国立公園内の観光施設維持管理
	【2次評価】	継続	
【3次評価】	総合		

事務事業名 国立公園清掃活動事業補助金

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	昭和 59 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	国内外の観光客に優しい観光地づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	安全安心な観光施設の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	国立公園内の環境美化を図ることで観光客の満足度を高め、快適に利用できるようにすることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 支笏洞爺国立公園登別地区の自然環境を美しく保持するため、重点清掃地域の清掃を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 国立公園内の環境美化を図るため、清掃や小破修繕等を行う（一財）自然公園財団登別支部に補助金を交付し支援する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 観光客

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		500	500	500	500	500
	合計			500	500	500	500	500

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 国立公園内の環境美化を図るため、清掃や小破修繕等を行う（一財）自然公園財団登別支部に補助金を交付し支援した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		観光入込客数（年間）	千人	3,346	3,536	3,913	3,851	4,400
	宿泊延数（年間）	千人	1,211	1,214	1,284	1,279	1,400	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 事業実施中に不断の事務改善を検討、実施しておりますが、事業内容に変更はない。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	事業の実施により、観光地としてのイメージ向上に資することから、今後も事業を継続する。	目標 国立公園内にある各観光施設を観光客が快適に利用できるよう環境美化に努める。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 市内国立公園内の環境美化を図るため、清掃や小破修繕等を行う（一財）自然公園財団登別支部に補助金を交付し支援する。
【3次評価】	総合		

事務事業名 **フラワーファンタジーロード事業補助金**

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 23 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	国内外の観光客に優しい観光地づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	安全安心な観光施設の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	主要道路の緑化風景を創出することにより、花観光を推進し、誘客に繋げることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	-----------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 登別市観光ホスピタリティ推進協議会が行うフラワーファンタジーロード事業に対して、補助を行い、主要道路の緑化風景を創出すること。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・桜坂駐車公園及び中央分離帯の草刈り及び草取り ・中央分離帯及び植樹帯への一年草及び多年草の植栽	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市フラワーファンタジーロード事業補助金交付要綱	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別市観光ホスピタリティ推進協議会の活動内容

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		650	650	650	650	650
	合計			650	650	650	650	650

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 登別市観光ホスピタリティ推進協議会が行うフラワーファンタジーロード事業に対して、その要する経費の一部を補助した。 【事業内容】 ・桜坂駐車公園及び中央分離帯の草刈り及び草取り ・中央分離帯及び植樹帯への一年草及び多年草の植栽						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		観光入込客数(年間)	千人	3,346	3,536	3,913	3,851	4,400
		宿泊延数(年間)	千人	1,211	1,214	1,284	1,279	1,400

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 事業実施中に不断の事務改善を検証、実施しているが、事業内容に変更はない。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	事業の実施により、観光地としてのイメージ向上に資することから、今後も事業を継続する。	目標 登別温泉への主要道路の景観を高め、観光地としてのイメージ向上を図るため、引き続き、登別市観光ホスピタリティ推進協議会が行うフラワーファンタジーロード事業を支援していく。 計画 ・桜坂駐車公園及び中央分離帯の草刈り及び草取り ・中央分離帯及び植樹帯への一年草及び多年草の植栽
	【2次評価】	行政評価会議	
継続	【3次評価】	総合	

事務事業名 観光案内看板等整備事業

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成28年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成29年度
基本的な方向	1	国内外の観光客に優しい観光地づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	安全安心な観光施設の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	観光案内看板の整備、改修を促進し、観光客の利便性向上を図ることを目的とする。	前回評価
----	--	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 観光案内看板の整備、改修を行い、観光客の利便性向上を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 観光案内看板について、破損や老朽化が進んでいることから、多言語表記にするなど一部改修を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 観光客

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円				1,250	1,240	1,250
	合計			0	0	1,250	1,240	1,250

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ・観光案内看板外国表記の統一 ・破損及び老朽化が進行した看板の改修 ・JR登別駅前前の交通案内看板とその他市内3ヶ所の改修						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		観光入込客数(年間)	千人	3,346	3,536	3,913	3,851	4,400
	外国人観光客宿泊延数	千人	1,211	373	471	480	500	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 事業実施中に不断の事務改善を検討、実施しておりますが、事業内容に変更はない。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	平成29年度において、観光案内看板8か所程度について改修を行う。	目標 観光案内看板の整備、改修を行い、観光客の利便性向上を図る。 計画 ・観光案内看板外国表記の統一 ・破損及び老朽化が進行した看板の改修
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 **登別観光協会助成金**

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 ー 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	国内外の観光客に優しい観光地づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	観光客受入体制の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 観光振興に重要な役割を担う（一社）登別観光協会の運営を支援することにより、新しい時代のニーズに対応した観光地づくりを推進することを目的とする。

前回評価 **維持**

Plan 概要

目標 (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)
観光振興に重要な役割を担う観光振興に重要な役割を担う登別観光協会の運営を支援することにより、新しい時代のニーズに対応した観光地づくりを推進することを目的とする。

計画 (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)
(一社) 登別観光協会に対して、運営管理に係る経費の一部を補助

根拠 (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)
(一社) 登別観光協会

Plan ↓ Do (事業費(財源内訳))

名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金	千円					
道支出金	千円					
地方債	千円					
その他	千円					
一般財源	千円	10,600	10,600	20,600	20,600	20,600
合計		10,600	10,600	20,600	20,600	20,600

Do (実績を簡潔に記入してください)
(一社) 登別観光協会に対して、運営管理に係る経費の一部を補助した。

事務事業の成果・改善の状況

平成28年度

【活動内容】

- ・観光協会運営管理業務
- ・会報及び協会ニュースの発行
- ・街傘の設置事業 等

指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
観光入込客数(年間)	千人	3,346	3,536	3,913	3,852	4,400
宿泊延数(年間)	千人	1,211	1,214	1,284	1,280	1,400

Check (事務事業の実施における課題点等を記入してください)
事業実施中に不断の事務改善を検討、実施しておりますが、事業内容に変更はない。

課題等の状況

平成28年度

評価

【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
継続	安定的な事業運営を実施するため、今後も事業を継続することが相当である。	目標 魅力ある観光地づくりを推進するため、引き続き、(一社) 登別観光協会の活動を支援すること。
【2次評価】	行政評価会議	計画 (一社) 登別観光協会に対して、運営管理に係る経費の一部を助成する。 観光協会の事業内容は以下のとおり ・観光協会運営管理業務 ・会報及び協会ニュースの発行 ・街傘の設置事業 ・国内観光関係団体との交流、懇談 ・国際交流、親善の実施
【3次評価】	総合	

事務事業名 **インフォメーションプラザ事業補助金**

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 24 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	国内外の観光客に優しい観光地づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	観光客受入体制の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	外国人を含む登別市を訪れる観光客への観光案内や、さまざまな観光情報の発信を通じて、観光客の満足度を向上させることで、魅力ある観光地づくりを推進することを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	-----------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 外国人を含む登別市を訪れる観光客への観光案内や、さまざまな観光情報の発信を通じて、観光客の満足度を向上させることで、魅力ある観光地づくりを推進することを目的とする。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・日本人及び外国人観光客への観光案内業務（窓口及び街頭） ・観光協会ホームページ及びブログの更新業務 ・観光イベントや誘客事業等における通訳業務 ・観光パンフレットや飲食店メニュー等の翻訳業務	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) インフォメーションプラザ事業補助金交付要綱	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) (一社) 登別観光協会

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
	合計			3,000	3,000	3,000	3,000	3,000

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 外国人を含む登別市を訪れる観光客に安心して楽しく旅行してもらうため、(一社)登別観光協会が行うインフォメーションプラザ事業に対して、その要する経費の一部を補助した。 【事業内容】 ・日本人及び外国人観光客への観光案内業務（窓口及び街頭） ・観光協会ホームページ及びブログの更新業務 ・観光イベントや誘客事業等における通訳業務 ・観光パンフレットや飲食店メニュー等の翻訳業務						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		インフォメーションプラザ利用者数	人	16,589	19,387	16,366	14,145	20,000
	外国人観光客宿泊延べ数	千人	314	372	470	479	500	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 事業実施中に不断の事務改善を検討、実施しておりますが、事業内容に変更はない。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	事業の実施により、外国人を含む観光客へのサービス向上に資することから、今後も事業を継続することが相当である。	目標 外国人を含む登別市を訪れる観光客に安心して楽しく旅行してもらうため、登別観光協会が行うインフォメーションプラザ事業に対して、その要する経費の一部を補助する。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 ・日本人及び外国人観光客への観光案内業務（窓口及び街頭） ・観光協会ホームページ及びブログの更新業務 ・観光イベントや誘客事業等における通訳業務 ・観光パンフレットや飲食店メニュー等の翻訳業務
【3次評価】	総合		

事務事業名	観光振興特別対策事業補助金
-------	---------------

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 6 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	国内外の観光客に優しい観光地づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	観光客受入体制の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	(一社) 登別観光協会が行う誘客宣伝事業等を支援することにより、市の基幹産業である観光産業の振興を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) (一社) 登別観光協会が行う誘客宣伝事業等を支援することにより、市の基幹産業である観光産業の振興を図ることを目的とする。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) (一社) 登別観光協会が行う誘客宣伝事業等に対して、それに要する経費の一部を補助する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) (一社) 登別観光協会

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		41,900	41,900	44,852	44,852	44,852
	合計			41,900	41,900	44,852	44,852	44,852

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) (一社) 登別観光協会が行う誘客宣伝事業等に対して、その要する経費の一部を補助した。 【誘客宣伝事業】 国内・海外向け観光誘客宣伝、広域観光対策の推進・協同宣伝、パンフレット等の作成、ホームページ等の管理 【まつりイベント事業】 特別イベント「鬼火が誘う地獄の谷」、登別地獄まつり、登別温泉湯まつり等 【環境整備事業】 バイパス及び泉源公園等景観形成の推進、ライトアップ等 平成28年度から観光客誘客促進事業に係る一部の事務（報償費、手数料、印刷製本費）を（一社）登別観光協会に移管することに伴い、補助金を増額した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		観光入込客数（年間）	千人	3,346	3,536	3,913	3,852	4,400
	宿泊延数（年間）	千人	1,211	1,214	1,284	1,279	1,400	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 事業実施中に不断の事務改善を検討、実施しておりますが、事業内容に変更はない。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	本市の基幹産業である観光の振興にあたっては、市と（一社）登別観光協会が協力し、推進する必要があるため、今後もその運営を支援することが相当であり、（一社）登別観光協会が実施する事業の更なる活性化を図る。	目標 (一社) 登別観光協会が行う誘客宣伝事業等を支援することにより、市の基幹産業である観光産業の振興を図ることを目的とする。 計画 【誘客宣伝事業】 国内・海外向け観光誘客宣伝、広域観光対策の推進・協同宣伝、パンフレット等の作成、ホームページ等の管理 【まつりイベント事業】 特別イベント「鬼火が誘う地獄の谷」、登別地獄まつり、登別温泉湯まつり等 【環境整備事業】 バイパス及び泉源公園等景観形成の推進、ライトアップ等
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名	カルルス温泉スキー場事業
-------	--------------

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	カルルス温泉スキー場事業特別会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	昭和 38 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	感動と癒しのある観光地づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	観光資源の充実と利用促進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	観光振興及びウィンタースポーツの振興とカルルス地区の活性化を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 修学旅行生などの観光客の誘客を促進するとともに、市民のウィンタースポーツの普及などに努め、スキー場の安定経営を目的とする。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・地元の利用者の拡大 ・修学旅行・宿泊研修の獲得 ・インバウンド利用者の確保	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 自然公園法、登別市カルルス温泉スキー場条例及び管理規程	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) スキー場利用者

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他	スキー場運営収入	千円		91,427	70,696	88,668	80,674	91,837
一般財源		千円		25,073	28,768	24,332	20,855	24,163
	合計			116,500	99,464	113,000	101,529	116,000

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 安心安全なスキー場として、施設の適正な維持管理を行い、スキー場利用の促進に努めた。事業運営については(株)登別ゴルフ場に(平成28年5月1日～平成33年3月31日)業務委託を行った。 【実施事業】 カルルス温泉冬まつり、手ぶらスキー・スノーボード体験、ちびっこ集まれスキー・スノーボード初体験、2回目・1日券半額事業、スキー教室等また、平成26年度から手ぶらスキー・スノーボード体験の対象を胆振11市町とした。 事業運営については、(株)登別ゴルフ場と(平成28年5月1日～平成33年3月31日)業務委託の更新を行った。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		輸送人員	人	323,467	294,836	243,490	281,385	315,000

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 事業実施中に不断の事務改善を検討、実施しておりますが、事業内容に変更はない。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	事業の実施により、観光振興及びウィンタースポーツの振興とカルルス地区の活性化に資することから、今後も事業を継続することが相当である。	目標 安心安全なスキー場として、施設の適正な維持管理を行い、スキー場利用の促進を図る。 計画 ・カルルス温泉冬まつり ・手ぶらスキー・スノーボード体験 ・ちびっこ集まれスキー・スノーボード初体験 ・2回目・1日券半額事業 ・手ぶらスキー・スノーボード体験等
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 登別市・白老町観光連絡協議会負担金

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 ー 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	感動と癒しのある観光地づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	滞在型観光の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	登別市・白老町観光連絡協議会の活動経費の一部を負担することにより、登別市並びに白老町の個性を生かした多様な観光地づくりを推進することを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 登別市・白老町観光連絡協議会の活動経費の一部を負担することにより、登別市並びに白老町の個性を生かした多様な観光地づくりを推進する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・四国・中国・九州地方修学旅行プロモーション ・神奈川県海老名市修学旅行プロモーション ・東北・北関東等誘客事業 ・観光プロモーション事業	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 観光客

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	合計			1,500	1,500	1,500	1,500	1,500

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 登別市並びに白老町の観光に関連する産業の振興と誘客促進に取り組む同協議会の経費の一部を負担した。 【主な事業】 ・四国・中国・九州地方修学旅行プロモーション ・神奈川県海老名市修学旅行プロモーション ・東北・北関東等誘客事業 ・観光プロモーション事業						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		観光入込客数(年間)	千人	3,346	3,536	3,913	3,852	4,400
	宿泊延数(年間)	千人	1,211	1,214	1,284	1,280	1,400	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 事業実施中に不断の事務改善を検討、実施しておりますが、事業内容に変更はない。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	事業の実施により、登別市並びに白老町の誘客促進に資することから、今後も事業を継続することが相当である。	目標 登別市・白老町観光連絡協議会の活動経費の一部を負担することにより、登別市並びに白老町の個性を生かした多様な観光地づくりを推進する。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 【登別市・白老町観光連絡協議会の主な事業】 ・四国・中国・九州地方修学旅行プロモーション ・東北・北関東等誘客事業 ・国内外観光プロモーション事業 ・民族共生象徴空間PR事業
【3次評価】	総合		

事務事業名 北海道登別洞爺広域観光圏協議会負担金

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 年度
基本的な方向	2	感動と癒しのある観光地づくり	事業区分	
主要な施策	2	滞在型観光の推進	大型事業推進プラン	

目的	観光地相互間の連携により観光圏を形成し、観光圏の魅力の増進を図ることで国際競争力を高め、国内外からの観光客の来訪及び滞在を促進することを目的とする。	前回評価
----	--	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 西胆振3市4町が連携し、誘客宣伝事業や受入環境整備事業を実施し、地域全体での誘客促進や観光客満足度の向上を目指す。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・サイクルツーリズム推進事業 ・手ぶら観光実証実験事業 ・パブリシティ発信事業 ・海外、国内プロモーション事業 ・VJ地方連携事業	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 観光客

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		2,369	2,369	2,363	2,363	2,363
	合計			2,369	2,369	2,363	2,363	2,363

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 登別市、室蘭市、伊達市、白老町、壮瞥町、洞爺湖町、豊浦町の観光に関連する産業の振興と誘客促進に取り組む同協議会の経費の一部を負担した。 【主な事業】 ・サイクルツーリズム推進事業 ・手ぶら観光実証実験事業 ・パブリシティ発信事業 ・海外、国内プロモーション事業 ・VJ地方連携事業						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		観光入込客数(年間)	千人	3,346	3,536	3,913	3,852	4,400
	宿泊延数(年間)	千人	1,211	1,214	1,284	1,280	1,400	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 事業実施中に不断の事務改善を検討、実施しておりますが、事業内容に変更はない。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	観光客の移動が広範化、長期化する中で、西胆振地域全体で誘客促進を行い、周遊促進を行うことは、本市の入込増加にも資することから、今後も事業を継続することが相当である。	目標 西胆振3市4町が連携し、誘客宣伝事業や受入環境整備事業を実施し、地域全体での誘客促進や観光客満足度の向上を目指すこと。 【主な事業】 ・手ぶら観光実証実験事業 ・パブリシティ発信事業 ・海外、国内プロモーション事業 ・VJ地方連携事業
	【2次評価】	行政評価会議	計画
【3次評価】	継続	総合	

事務事業名 **観光客誘客促進事業**

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	昭和 45 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	多様な誘客事業の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	魅力ある観光情報の発信	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	観光PRに必要なツールの整備や誘客事業の参加を通して、観光客入込の増加を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	-----------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 各種誘客事業へ参加し、誘客促進を行うことを目的とする。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 【事業内容】 ・道内外の観光PRイベントへの参加。 ・各種行事等における特産品等の提供 ・媒体への広告掲載 ・登別市PRキャラクターを活用した誘客宣伝	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 観光客

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		9,133	4,392	1,679	1,597	2,128
	合計			9,133	4,392	1,679	1,597	2,128

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 観光PRに必要なツールの整備や誘客事業の参加を通して、道内・道外における観光宣伝を実施した。 【事業実施】 ①道内外観光PRイベント等への参加 ②各種行事等における特産品等の提供 ③媒体の広告掲載 ④新幹線開業に伴う誘客促進事業 ⑤友好都市等への観光客誘客促進事業 本事業に係る一部の事務（報償費、手数料、印刷製本費）を観光協会に移管した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		観光入込客数（年間）	千人	3,346	3,536	3,913	3,852	4,400
	宿泊延数（年間）	千人	1,211	1,214	1,284	1,280	1,400	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 事業実施中に不断の事務改善を検討、実施しておりますが、事業内容に変更はない。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	事業の実施により本市の誘客促進に資することから、今後も事業を継続することが相当である。	目標 各種誘客事業へ参加し、誘客促進を行うこと。 計画 ・道内外の観光PRイベントへの参加 ・各種行事等における特産品等の提供 ・媒体の広告掲載 ・登別市PRキャラクターを活用した誘客宣伝
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 北海道新幹線×nittan地域戦略会議経費

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 26 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	多様な誘客事業の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	魅力ある観光情報の発信	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	北海道新幹線の開業を契機として胆振日高地域の交流人口を増加させ、地域経済の活性化を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 北海道新幹線×nittan地域戦略会議に対し負担金を支出し、事業を実施することで地域経済の活性化を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・観光戦略事業 ・交通戦略事業 ・地域間連携促進事業	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民、観光客等

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	地域住民生活等緊急支援のための交付金	千円		2,500			
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		1,500	3,500	3,500	2,500	
	合計			0	4,000	3,500	3,500	2,500

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 胆振日高地域の魅力を道内外に発信し、知名度の向上や胆振日高地域の資源を活かし交流人口の増加を図るため、胆振日高の18市町で構成される北海道新幹線×nittan地域戦略会議に対し負担金を支出するとともに、本市においても、当会議が実施する各種事業等に積極的に参加した。 【事業内容】 ・2次交通関係整備事業（森蘭航路） ・函館市合同プロモーション事業 ・域外メディア招聘事業 ・域内周遊ルート整備事業 ・WEB、SNS更新事業						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		観光入込客数（年間）	千人	3,346	3,536	3,913	3,852	4,400
	宿泊延数（年間）	千人	1,211	1,214	1,284	1,280	1,400	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・概ねの事業終了目途を2020年としているが、今後の中長期的な事業実施計画の策定が急務である。
--------	--------	---

評価	今後の取組【Action】	今後の目標・計画【Plan】
【1次評価】	担当グループ	目標
縮小	実施事業内容の精査を行い、予算規模の縮小、本市負担金の減額について代表事務局である苫小牧市に打診する。	北海道新幹線×nittan地域戦略会議に対し負担金を支出し、事業を実施することで地域経済の活性化を図る。
【2次評価】	行政評価会議	計画
縮小		・観光戦略事業 ・交通戦略事業 ・地域間連携促進事業
【3次評価】	総合	

事務事業名 道内周遊ルート構築事業

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 28 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	多様な誘客事業の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	魅力ある観光情報の発信	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	道内他自治体と協同で、誘客促進及び受入環境整備事業を展開し、道内周遊ルートを構築することを目的とする。	前回評価	
----	---	------	--

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 函館市、札幌市と強固に連携し、3市を基軸とする周遊ルートを構成し、その発信及びPRを行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・交通事業者と連携した情報発信、プロモーション ・商談会への参加 ・3市周遊旅行商品の造成促進	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 観光客

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円				2,300	2,287	2,000
	合計			0	0	2,300	2,287	2,000

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 道内周遊ルートの構築を目指し、次の事業を実施した。 (1) 交通事業者と連携した情報発信・プロモーション ・周遊ルート名の設定 ・周遊ルート専用冊子、チラシの作成 (2) VJ地方連携事業負担金 ・相互に費用負担を行い、広域での誘客促進事業を実施した。 (3) 商談会へ参加（東京、仙台、名古屋、大阪、札幌） (4) 3市周遊旅行商品の造成						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		観光入込客数（年間）	千人	3,346	3,536	3,913	3,852	4,400
	宿泊延数（年間）	千人	1,211	1,214	1,284	1,280	1,400	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
--------	--------	----------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	事業の実施により、広域的な広域的なPRの促進、地域間連携の強化、交流人口の拡大に資することから、今後も事業を継続することが相当である。	目標 函館市、札幌市と強固に連携し、3市を基軸とする周遊ルートを構成し、その発信及びPRを行う。 計画 ・交通事業者と連携した情報発信、プロモーション ・商談会への参加 ・3市周遊旅行商品の造成促進
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 胆振西部乳牛検定組合補助金

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	平成 10 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	農水産物高付加価値化の促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	新鮮で安全安心な農水産物供給の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	乳質改善に取り組む団体の活動を支援することにより、乳質及び生産乳量の向上を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 乳質及び生産乳量の向上を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 胆振西部乳牛検定組合に対して、運営に要する経費の一部を補助する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市農林業等振興補助金交付要綱	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 胆振西部乳牛検定組合

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		429	429	429	429	429
	合計			429	429	429	429	429

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 乳牛能力検定事業を実施する胆振西部乳牛検定組合に対して、運営費の一部を補助した。 ・市内酪農家検定実施戸数：6戸						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		1頭当たり生産乳量	kg	8,397	8,590	8,559	8,672	9,000

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 特になし。
--------	--------	-------------------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	検定成績を活用することで、乳質の向上と生産乳量の高い優良牛の確保を図っていく。	目標 乳質及び生産乳量の向上を図る。 計画 胆振西部乳牛検定組合に対して、運営に要する経費の一部を補助する。
	【2次評価】	行政評価会議	
継続	【3次評価】	総合	

事務事業名 札内高原館運営管理経費

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	平成 18 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	農水産物高付加価値化の促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	地場農水産物高付加価値化の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	体験学習及びコミュニティ活動を通して農業に対する市民の知識及び理解を深めることにより、地域農業の振興を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 体験学習及びコミュニティ施設の利用促進を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 運営管理を指定管理者に委託し、農産物加工に関する体験学習メニューを提供するほか、体育館等を札内地区のコミュニティの場として開放する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市札内高原館条例、登別市札内高原館条例施行規則、登別市札内高原館の管理に関する協定書	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) (株)のぼりべつ酪農館

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他	行政財産使用料	千円		1,628	1,628	1,628	1,628	1,628
一般財源		千円		4,370	4,368	4,431	4,413	3,922
	合計			5,998	5,996	6,059	6,041	5,550

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 運営管理を指定管理者に委託し、農産物加工に関する体験学習メニューを提供するほか、体育館等を札内地区のコミュニティの場として開放した。 【指定管理期間】 平成27年4月1日～平成30年3月31日						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		札内高原館利用実績	人	2,202	2,894	3,611	3,150	3,150

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 施設の老朽化が進んでおり、対策が必要である。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	施設の老朽化対策を検討するとともに、体験学習やコミュニティ施設の利用促進に向け、引き続き指定管理者と連携し、札内高原館の運営に取り組んでいく。	目標 農業に対する市民の知識及び理解を深めるために体験学習及びコミュニティ活動を実施する。 計画 体験学習やコミュニティ施設の利用促進に向け、引き続き指定管理者と連携し、札内高原館の運営に取り組む。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 登別産一次産品普及促進事業

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	平成 28 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	農水産物高付加価値化の促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	地産地消の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市内で生産される農水産物の地域内における流通や消費の促進を図り、地域の食材としての認知度を高め、一次産品の価値を高めることを目的とする。	前回評価	
----	--	------	--

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市内で生産される農水産物を地域の食材としての認知度を高め、地域内における流通や消費の促進を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 市内で開催されるイベントでの振る舞いの実施 市内宿泊施設や飲食店でのメニュー開発に係る食材サンプルの提供 PRのぼりの取扱事業者での掲示	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円				704	416	349
	合計			0	0	704	416	349

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 市内で生産される牛乳や乳製品、登別牛、のぼりべつ豚などの一次産品を対象に、生産者等と協力して、市内で実施されるイベント等でPRするほか、市内の宿泊施設や飲食店での利用促進を図った。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		PR回数	回				2	2

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 一次産品の取扱店舗の拡大を図る必要がある。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	引き続き生産者等と協力して、市内の宿泊施設や飲食店での利用促進を図っていく。	目標 市内で生産される農水産物に対し、地域の食材としての認知度を高め地域内における流通や消費の促進を図る。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 市内で開催されるイベントでの振る舞いの実施 市内宿泊施設や飲食店でのメニュー開発に係る食材サンプルの提供 PRのぼりの取扱事業者での掲示
【3次評価】	総合		

事務事業名 酪農ヘルパー事業補助金

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	平成 10 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	ゆとりある農業経営の促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	新規就農者、担い手農業者への支援	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	酪農ヘルパーの普及に取り組む団体を支援することにより、酪農経営の安定的な発展と酪農家の生活環境の改善を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 酪農経営の安定的な発展と酪農家の生活環境の改善を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 伊達市酪農ヘルパー利用組合に対し、運営に要する経費の一部を補助する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市農林業等振興補助金交付要綱	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 伊達市酪農ヘルパー利用組合

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		608	608	672	672	668
	合計			608	608	672	672	668

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 酪農ヘルパー事業の普及、ヘルパー要員の研修・確保を行う伊達市酪農ヘルパー利用組合に対して運営費の一部を補助した。 ・加入農家数：10戸						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		ヘルパー利用回数	回	258	217	179	272	280

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 特になし。
--------	--------	-------------------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	ヘルパーを利用を促進することにより、定期的休暇の取得を図り、畜産経営の進展を目指す。	目標 酪農経営の安定的な発展と酪農家の生活環境の改善を図る。 伊達市酪農ヘルパー利用組合に対して、運営に要する経費の一部を補助する。
	【2次評価】	行政評価会議	計画
【3次評価】	総合		

事務事業名 青年就農給付金事業（経営開始型）

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	平成 24 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	ゆとりある農業経営の促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	新規就農者、担い手農業者への支援	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	一定の条件を満たす新規青年就農者に対し、就農直後の職所得を確保する給付金を給付することにより、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

P l a n 概 要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 新規青年就農者の経営安定を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 新規青年就農者に対して国の制度を活用し、給付金を給付する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 北海道青年就農給付金事業実施要領、登別市青年就農給付金事業（経営開始型）給付要領	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 一定の条件を満たす新規青年就農者

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金			千円				
道支出金	北海道青年就農給付金事業補助金		千円	750	0	2,250	2,250	2,250
地方債			千円					
その他			千円					
一般財源			千円					
	合計			750	0	2,250	2,250	2,250

D o c u m e n t 事 務 事 業 の 成 果 ・ 改 善 の 状 況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 地域の農業者が策定した「人・農地プラン」において中心経営体と位置付けられた新規青年就農者に対して、国の制度を活用し、給付金を給付する。 【給付対象】 ・ 給付対象者：平成25年4月以降に農業経営を開始した45歳未満の者（単独で自営就農する者に限る） ・ 所得基準：所得が350万円未満の者 他 ・ 給付期間：経営が安定するまでの間（最長5年）						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		給付対象者	人	1	1	0	2	2

C h e c k 課 題 等 の 状 況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 特になし。
---	--------	-------------------------------------

評 価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	給付金の給付を行うことにより、新規青年就農者の確保と定着を図っていく。	目標 新規青年就農者の経営安定を図る。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 新規青年就農者に対して国の制度を活用し、給付金を給付する。
【3次評価】	継続	総合	

事務事業名 市牧場管理事業

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	平成 ー 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	ゆとりある農業経営の促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	新規就農者、担い手農業者への支援	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市内酪農家の育成牛の預託を受け入れることにより、乳牛の飼養管理、畜産農家の労働の省力化を図り、もって乳牛品質の向上及び畜産農家の生活環境の改善を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 牧場の利用の促進により畜産農家の労働の省力化及び乳牛品質の向上を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 指定管理制度により市牧場の維持管理を行うとともに、草地不足の酪農家の育成牛などの受け入れを行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市牧場管理条例、登別市牧場管理条例施行規則、登別市牧場施設の管理に関する協定書	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 伊達市農業協同組合

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		1,456	1,417	1,550	1,426	1,550
	合計			1,456	1,417	1,550	1,426	1,550

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 指定管理制度により、市牧場（鉦山町）の草地の維持管理などを行うとともに、草地不足の酪農家の育成牛などの受け入れを行った。 【事業内容】 草地維持管理事業、家畜防疫事業、預託牛飼育管理事業 【指定管理期間】 平成28年4月1日～平成33年3月31日						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		放牧延頭数	頭数	6,462	6,318	5,117	3,252	6,500

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 施設の利用が減少傾向にある。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・市牧場の利用拡大を推進し、ゆとりある畜産経営の確立を目指す。 ・利用の促進を図るため指定管理者とともに、市内酪農家への利用の働きかけを行っていく。	目標 畜産農家の労働の省力化及び乳牛品質の向上を図る。 計画 指定管理制度により市牧場の維持管理を行うとともに、草地不足の酪農家の育成牛などの受け入れを行う。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 市牧場用地購入費

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	平成 27 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	ゆとりある農業経営の促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	新規就農者、担い手農業者への支援	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市内畜産農家の育成牛等の預託を受け入れることによって、乳牛の飼養管理、畜産農家の労働の省力化を図り、もって乳牛品質の向上及び畜産農家の生活環境の改善を図ることを目的で設置している市牧場の用地を取得する。	前回評価	維持
----	---	------	----

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市牧場用地として使用している民有地を購入し、乳牛の飼養管理、畜産農家の労働の省力化を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 取得手続きを進められるよう、土地所有者との協議を進める。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 土地所有者

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	3,571	0	0	0	0
	合計		3,571	0	0	0	0

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 市牧場用地として使用している民有地(178,512㎡)を購入することで所有者と協議を進めたが、所有者の事情により、同年度中に土地の取得はできなかった。 再度、取得手続きを進められるよう、土地所有者との協議を進める。 【購入する土地】 ・登別市鉱山町 59,504㎡ ・登別市鉱山町 59,504㎡ ・登別市鉱山町 59,504㎡ 合計 178,512㎡ 平成29年度に取得ができるよう、土地所有者との協議を進める。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		民有地の取得面積	㎡					-178,512

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
--------	--------	----------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	土地の取得について所有者と協議を進める。	目標 市牧場用地として使用している民有地を購入し、乳牛の飼養管理、畜産農家の労働の省力化を図る。 計画 取得手続きを進められるよう、土地所有者との協議を進める。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 中山間地域等直接支払交付金

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	平成 12 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	ゆとりある農業経営の促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	新規就農者、担い手農業者への支援	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	農業生産条件が不利な中山間地域の耕作放棄地の発生を防止し、農地の多面的機能を確保することを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市牧場の草地の維持管理活動を推進し、中山間地域農地の多面的機能の確保を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 市営牧場を利用する農業者で構成する集落に対して、交付金を交付する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 北海道中山間地域等直接支払交付金実施要領	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 集落

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金			千円				
道支出金	中山間地域等直接支払交付金		千円	1,327	1,327	1,327	1,327	1,327
地方債			千円					
その他			千円					
一般財源			千円	443	443	443	443	443
	合計			1,770	1,770	1,770	1,770	1,770

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 中山間地域等直接支払交付金事業を実施し、市営牧場を利用する農業者で構成する集落(団体)に対して交付金を交付した。 【事業実績】 草地の維持管理活動、雨水による草地流亡補修、家畜伝染病まん延防止対策 ・交付対象：集落1箇所 ・対象農用地：登別市牧場：45.12ha ・補助率：国費50%、道費：25%、市負担：25%						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		放牧家畜予防接種	頭	98	100	86	52	95
		雨水による通路等のガレ補修	箇所	1	1	1	1	1

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 特になし。
--------	--------	-------------------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	集落協定に基づく急傾斜農地保全のための活動に対して、引き続き国や北海道とともに支援していく。	目標 中山間地域農地の多面的機能の確保を図る。 計画 市営牧場を利用する農業者で構成する集落に対して、交付金を交付する。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 農地有効利用システム更新事業

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	平成 23 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	ゆとりある農業経営の促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	農業生産基盤の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	農地有効利用システム等のデータ更新を行うことにより、情報の有効活用と農用地等の適切な管理を推進することを目的とする。	前回評価
----	--	------

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 農用地等の適切な管理の推進を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 未実施	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 土地所有者

Plan ↓ Do 事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
	道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源		千円					1,188
合計				0	0	0	0	1,188

Do 事務事業の成果・改善の状況	(実績を簡潔に記入してください) 未実施						
	平成28年度						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 未実施
-----------------	--------	-----------------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	農地有効利用システム、森林資源情報システム及び農業振興地理情報システムについて、オルソ画像データ・林班図データ・地番図形データ・地番属性データの更新を行い、農用地等の適切な管理を行っていく。 なお、当該更新作業は3年に1度としており、次回の更新は、平成29年度に行うものとする。	目標 農用地等の適切な管理の推進を図る。 計画 農地有効利用システム、森林資源情報システム及び農業振興地理情報システムについて、オルソ画像データ・林班図データ・地番図形データ・地番属性データの更新を行う。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 農業振興特別補助金

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	昭和 49 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 30 年度
基本的な方向	2	ゆとりある農業経営の促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	農業生産基盤の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	土地改良事業に係る農業者等の経済的負担を軽減することを目的とする。	前回評価	維持
----	-----------------------------------	------	----

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 土地改良事業（道営農免農道整備事業）に係る農業者等の経済的負担を軽減する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 土地改良事業に係る受益者負担金相当分を農業者等に補助する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市農業振興特別対策事業補助規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 農業者

事業費（財源内訳） Plan ↓ Do	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円				
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	1,099	1,099	1,099	1,099	741
	合計		1,099	1,099	1,099	1,099	741

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 平成3年以降に実施した土地改良事業（道営農免農道整備事業）に係る受益者負担金相当分を農業者等に補助した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 特になし。
-----------------	--------	-------------------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	平成30年度の償還が完了するまで今後も補助を継続する。	目標 土地改良事業（道営農免農道整備事業）に係る農業者等の経済的負担を軽減する。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 土地改良事業（道営農免農道整備事業）に係る受益者負担金相当分を農業者等に補助する。
【3次評価】	総合		

事務事業名 農業用施設管理経費

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	平成 ー 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	ゆとりある農業経営の促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	農業生産基盤の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	農業用施設を適切に維持管理することで、農業者や地域住民の生活環境の改善、農業基盤の充実を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 農業基盤の充実と地域住民の生活環境の改善を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 農業用通路や農業用排水路の補修等を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 農業者

事業費(財源内訳)		名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金			千円					
道支出金	海岸保全区域点検整備事業費委託金・海岸保全施設整備事業監督等補助業務委託金		千円	127	132	127	60	59
地方債			千円					
その他			千円					
一般財源			千円	696	90	520	571	590
合計				823	222	647	631	649

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 農業用通路や農業用排水路の補修等を行った。 【事業内容】 ○排水補修 2箇所 ○農業用通路修繕 2箇所						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		修繕箇所数	箇所	5	3	1	4	4

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・雨により農業用通路の砂利が流れて車両の通行が難しくなることがあった。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	<ul style="list-style-type: none"> 農業者の経営基盤の充実や地域住民の生活環境の改善を目指す。 大雨が降った際には巡視を行い、補修箇所があるか確認する。 	目標 農業者の経営基盤の充実や地域住民の生活環境の改善を図る。 計画 農業用通路や農業用排水路の補修等を行う。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	継続	総合	

事務事業名 農業経営基盤強化資金利子助成事業

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	平成23年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成28年度
基本的な方向	2	ゆとりある農業経営の促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	農業生産基盤の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	設備投資等に要する借入に係る金利の一部を助成することにより、農業者の経済的負担を軽減し、農業経営の安定化を図ることを目的とする。	前回評価	終了
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 設備投資等に要する農業者の経済的負担を軽減する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 認定農業者に対し、農業経営基盤強化資金の利子の一部を助成する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 農業経営基盤強化資金利子助成金等交付事業実施要綱、北海道農業経営基盤強化資金利子補給費補助金交付事業実施要領、登別市農業経営基盤強化資金利子助成金交付要綱	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 認定農業者

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金			千円				
道支出金	農業経営基盤強化資金利子補給費補助金		千円	22	20	4	4	
地方債			千円					
その他			千円					
一般財源			千円	23	22	4	4	
	合計			45	42	8	8	0

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 認定農業者が借り受ける農業経営基盤強化資金の利子の一部を助成した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		助成対象者	人	1	1	1	1	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 特になし。
--------	--------	-------------------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	終了	平成28年度をもって事業終了。	目標 設備投資等に要する農業者の経済的負担を軽減する。 認定農業者に対し、農業経営基盤強化資金の利子の一部を助成する。
	平成28年度	行政評価会議	計画
【2次評価】	終了	総合	
【3次評価】			

事務事業名 草地生産力向上支援特別対策事業

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	平成 27 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 30 年度
基本的な方向	2	ゆとりある農業経営の促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	農業生産基盤の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	草地整備を計画的に進めることにより、良質粗飼料の確保と飼料自給率向上による生産性の高い畜産経営の育成及び安定を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 良質粗飼料の確保、飼料自給率の向上により畜産経営の安定を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 草地畜産基盤整備事業（畜産担い手育成総合整備型）再編整備事業の「西いぶり地区」として参加する市内農家7戸に対して、草地整備の事業費の一部を補助する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 農業者

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金			千円				
道支出金	草地畜産基盤整備事業（畜産担い手総合整備型）再編整備事業補助金		千円	519	266	1,348	1,033	1,436
地方債			千円					
その他	草地生産力向上支援特別対策事業負担金		千円	2,493	1,254	6,481	4,863	6,899
一般財源			千円					
	合計			3,012	1,520	7,829	5,896	8,335

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 草地畜産基盤整備事業（畜産担い手育成総合整備型）再編整備事業の「西いぶり地区」として参加する市内農家7戸に対して、草地整備の事業費の一部を補助した。 【事業内容】 ・実施農家 6戸 ・整備面積 10.37ha						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		草地整備面積	ha			6.66	10.37	22.11

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 特になし。
--------	--------	-------------------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	計画された草地の整備が完了する平成30年度まで引き続き補助を行う。	目標 良質粗飼料の確保、飼料自給率の向上により畜産経営の安定を図る。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 草地畜産基盤整備事業（畜産担い手育成総合整備型）再編整備事業の「西いぶり地区」として参加する市内農家7戸に対して、草地整備の事業費の一部を補助する。
【3次評価】	総合		

事務事業名 有害鳥獣駆除経費

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	平成 11 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	ゆとりある農業経営の促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	4	有害鳥獣の捕獲推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	有害鳥獣による農林業及び生活環境被害を最小限に食い止め、農林業の振興及び市民生活の維持を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 有害鳥獣による農林業及び生活環境被害を最小限に食い止める。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・農林業及び生活環境被害に対応する有害鳥獣駆除業務委託 ・鳥獣被害対策実施隊によるエゾシカの大規模捕獲	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 一般社団法人北海道猟友会室蘭支部

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金			千円				
道支出金	北海道権限委譲事務交付金、地域づくり総合交付		千円	396	794	613	638	777
地方債			千円					
その他			千円					
一般財源			千円	3,052	2,325	3,236	2,846	3,357
	合計			3,448	3,119	3,849	3,484	4,134

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 市民からの被害及び苦情相談に基づき、エゾシカ・アライグマ・キツネ・カラス・タヌキなどの有害鳥獣を駆除した。 【実施事業】 ・農林業及び生活環境被害に対応する有害鳥獣駆除業務委託 ・鳥獣被害対策実施隊によるエゾシカの大規模捕獲による個体数の調整						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		駆除頭(羽)数	頭(羽)	380	469	640	858	485

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 捕獲実績は増えているが、農林業被害は依然高い水準にある。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	市民からの被害相談に対応するほか、有害鳥獣の駆除による個体数の適正化を図るなど、引き続き被害の防止に努めていく。	目標 有害鳥獣による農林業及び生活環境被害を最小限に食い止める。 計画 ・農林業及び生活環境被害に対応する有害鳥獣駆除業務委託 ・鳥獣被害対策実施隊によるエゾシカの大規模捕獲
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業補助金

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	平成 25 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 28 年度
基本的な方向	2	ゆとりある農業経営の促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	4	有害鳥獣の捕獲推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	有害鳥獣捕獲者の捕獲意欲の拡大を図ることで、鳥獣の個体数調整及びび担い手対策を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 有害鳥獣捕獲者に対し補助金を支払うことで、有害鳥獣の捕獲意欲の拡大を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 有害鳥獣捕獲者に対し捕獲頭数に応じて、補助金を支出する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業促進交付金交付要綱、鳥獣被害防止緊急捕獲等対策実施要綱、鳥獣被害防止緊急捕獲等対策実施要領、鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業に係る業務方法	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別市有害鳥獣捕獲従事者

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他	鳥獣被害防止緊急捕獲等対策補助金	千円		1,054	1,053	1,297	0	
一般財源		千円						
合計				1,054	1,053	1,297	0	

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 当初、登別市が事業実施主体となり、国の制度を活用し補助金を交付する予定であったが、事業実施主体を登別市鳥獣被害防止対策協議会に変更したため、予算の全額を減額補正した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		補助対象駆除頭(羽)数	頭(羽)	-	386	435	-	-

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
--------	--------	----------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	終了	登別市鳥獣被害防止対策協議会が実施する。	目標
	平成28年度	行政評価会議	計画
【2次評価】	終了	総合	
【3次評価】			

事務事業名 地場水産物消費拡大（登別漁港まつり）事業補助金

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	昭和 52 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	時代に即した漁業生産の基盤づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	マリンビジョンの推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	いぶり中央漁業協同組合が行う地場水産物のPR事業等を支援することにより、地場水産物の消費拡大や地産地消の推進を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 地場水産物のPRや地産地消を促進する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 登別漁港まつりにおいて、いぶり中央漁業協同組合が登別漁港産水産物の消費拡大やPRのため実施する「朝揚げ鮭の抽選即売会」に要する経費の一部を補助する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市水産業振興対策事業補助規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) いぶり中央漁業協同組合

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		300	300	300	300	300
	合計			300	300	300	300	300

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 登別漁港まつりにおいて、いぶり中央漁業協同組合が登別漁港産水産物の消費拡大やPRのため実施する「朝揚げ鮭の抽選即売会」に要する経費の一部を補助した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		漁港まつり来場者数	人	30,000	40,000	25,000	30,000	40,000

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 特になし。
--------	--------	-------------------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	「登別・白老（虎杖浜）地域マリンビジョン」の重要な取り組みの一つである登別漁港まつりにおいて、登別漁港産秋サケの鮮度をPRし、地場水産物の消費拡大を図るため、引き続き、いぶり中央漁業協同組合が行う「朝揚げサケの抽選即売会」を支援する。	目標 地場水産物のPRや地産地消を促進する。 計画 登別漁港まつりにおいて、いぶり中央漁業協同組合が登別漁港産水産物の消費拡大やPRのため実施する「朝揚げ鮭の抽選即売会」に要する経費の一部を補助する。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 **ホッキ空貝処分事業補助金**

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	平成 25 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 37 年度
基本的な方向	3	時代に即した漁業生産の基盤づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	つくり育てる漁業や資源管理型漁業の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	いぶり中央漁業協同組合が行う漁場整備の取り組みを支援することにより、「資源管理型漁業」を推進することを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	-----------

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) ホッキ空貝（死殻）を処分し、漁場の環境保全を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) いぶり中央漁業協同組合に対して、ホッキ貝の漁場に高密度で分布するホッキ空貝（死殻）の処分に要する経費の一部を補助する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市水産業振興対策事業補助規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) いぶり中央漁業協同組合

事業費（財源内訳） Plan ↓ Do	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円				
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	208	94	164	141	216
	合計		208	94	164	141	216

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) いぶり中央漁業協同組合に対して、ホッキ貝の漁場に高密度で分布するホッキ空貝（死殻）の処分に要する経費の一部を補助した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		ホッキ空貝処分量	トン	49	34	56	31	41
		ホッキ貝漁場における空貝の残存量	トン	-	491	435	404	363

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 特になし。
-----------------	--------	-------------------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	本市海域には多くのホッキ空貝が残存し、単年度で全ての空貝を処分することや事業効果を判断することは難しいため、今後も事業を継続していく。	目標 ホッキ貝の漁場に高密度で分布するホッキ空貝（死殻）の処分し、漁場環境の保全を行う。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 いぶり中央漁業協同組合に対して、ホッキ貝の漁場に高密度で分布するホッキ空貝（死殻）の処分に要する経費の一部を補助する。
【3次評価】	総合		

事務事業名 漁業近代化資金利子補給金

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	昭和 55 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	時代に即した漁業生産の基盤づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	漁業経営の安定	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	漁船の購入等に係る漁業者の経済的負担を軽減することにより、漁業資本装備の近代化を促進することを目的とする	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 漁船の購入等に係る漁業者の経済的負担を軽減する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 漁業近代化資金融通法に基づく漁業者等の漁業資本装備資金を融資した金融機関に対し利子補給を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 漁業近代化資金融通法、登別市漁業近代化資金利子補給条例、登別市漁業近代化資金利子補給条例施行規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) いぶり中央漁業協同組合

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		526	443	863	396	535
	合計			526	443	863	396	535

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 漁業近代化資金融通法に基づく漁業者等の漁業資本装備資金を融資した金融機関に対し利子補給を行った。 【事業実績】 (補給率) 年1.0%を上限 (補給実績) 11件						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		利子軽減額(利子補給金額)	千円	494	416	443	396	535
	利子補給を受けた人数	人	11	9	11	11	20	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 特になし。
--------	--------	-------------------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	漁業近代化資金融通法に基づく漁業者等の漁業資本装備資金を融資した金融機関に対して、市が利息補給をすることにより、借入者の負担を軽減し、漁業経営の近代化の促進が図られるため、引き続き、いぶり中央漁業協同組合を通じた本融資制度の周知に努める。	目標 漁船の購入等に係る漁業者の経済的負担を軽減する。 計画 漁業近代化資金融通法に基づく漁業者等の漁業資本装備資金を融資した金融機関に対し利子補給を行う。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 水産鮮度保持施設整備事業補助金

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	平成 28 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	時代に即した漁業生産の基盤づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	4	漁港の維持・管理と環境整備促進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	いぶり中央漁業協同組合が行う水産鮮度保持施設（製氷・貯氷）の整備を支援することにより、登別漁港利用者の氷不足の解消を図り、水産物の鮮度保持に資することを目的とする。	前回評価
----	--	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) いぶり中央漁業協同組合が行う水産鮮度保持施設（製氷・貯氷）の整備を支援する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 国の補助事業を活用し事業の費用の一部を補助するため補助する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市沿岸漁業構造改善対策事業補助規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) いぶり中央漁業協同組合

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金			千円				
道支出金	水産業競争力強化緊急施設整備事業		千円			231,682	0	231,682
地方債			千円					
その他			千円					
一般財源			千円			0	0	0
	合計			0	0	231,682	0	231,682

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 国の補助事業を活用し事業の費用の一部を補助するため補助予算を計上し、その全額を翌年度に繰り越した。				
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 特になし。
--------	--------	-------------------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	終了	水産鮮度保持施設（製氷・貯氷）の整備を支援することで、登別漁港利用者の氷不足を解消し、水産物の魚価向上を図る。 平成29年度で事業終了。	目標 いぶり中央漁業協同組合が行う水産鮮度保持施設（製氷・貯氷）の整備を支援する。
	平成29年度	行政評価会議	計画 登別漁港利用者の氷不足を解消し、水産物の魚価向上を図る。
【2次評価】		総合	
【3次評価】			

事務事業名 登別救難所運営事業補助金

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	昭和 46 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	時代に即した漁業生産の基盤づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	4	漁港の維持・管理と環境整備促進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	登別救難所の活動を支援することにより、安全な漁業活動の推進を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 安全な漁業活動の推進を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 海難事故の防止啓発や海難事故発生時の救助活動を行う登別救難所に対して、運営に要する経費の一部を補助する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市水産業振興対策事業補助規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別救難所

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
	道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源		千円	250	250	250	250	250
合計				250	250	250	250	250

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 海難事故の防止啓発や海難事故発生時の救助活動を行う登別救難所に対して、運営に要する経費の一部を補助した。 【登別救難所の活動内容】 三救難所合同夏季演習、定期訓練、海難防止パレード、海難事故時の救助活動、各種会議等						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		夏季演習、定期訓練等開催回数	回	2	2	2	2	2
		漁船海難防止パレード開催回数	回	1	1	1	1	1

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 特になし。
--------	--------	-------------------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	近年、本市海域では、漁船による海難事故だけではなく、レジャー型の高齢者事故も多発しているため、引き続き、登別救難所の活動を支援し、安心して安全な漁業活動及びレジャーの推進を図っていく。	目標 安全な漁業活動の推進を図る。 計画 海難事故の防止啓発や海難事故発生時の救助活動を行う登別救難所に対して、運営に要する経費の一部を補助する。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	継続	総合	

事務事業名 登別漁港維持管理事業補助金

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	昭和 44 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	時代に即した漁業生産の基盤づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	4	漁港の維持・管理と環境整備促進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	漁港の適切な維持管理を行うことにより、快適で安全な漁業活動の場や地域住民の交流の場を確保することを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 安全で安心な漁港利用の推進を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) いぶり中央漁業協同組合に対して、登別漁港の軽易な維持管理に要する費用と港内照明灯電気料の一部を補助する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市水産業振興対策事業補助規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) いぶり中央漁業協同組合

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金			千円				
道支出金	北海道権限委譲事務交付金		千円	280	280	280	280	277
地方債			千円					
その他			千円					
一般財源			千円					
	合計			280	280	280	280	277

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) いぶり中央漁業協同組合に対して、登別漁港の軽易な維持管理に要する費用と港内照明灯電気料の一部を補助した。 【事業実績】 照明灯電気代、清掃活動、除雪等						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		漁港愛護活動回数（漁港清掃・花壇整備等）	回	5	3	6	5	6
		漁港を利用した都市交流回数（朝市・夕市・漁港まつり）	回	4	4	4	9	9

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 特になし。
--------	--------	-------------------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	漁港は水産物の陸揚げ・流通の拠点であるとともに、海洋性レクリエーションの場として、漁業者や地域住民等が利用する地域社会の核としての役割を担っているため、引き続き、漁港の維持管理状況の把握に努め、関係機関との連絡調整を行う。	目標 安全で安心な漁港利用の推進を図る。 計画 いぶり中央漁業協同組合に対して、登別漁港の軽易な維持管理に要する費用と港内照明灯電気料の一部を補助する。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 鷲別漁港維持管理事業補助金

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	平成 11 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	時代に即した漁業生産の基盤づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	4	漁港の維持・管理と環境整備促進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	漁港の適切な維持管理を行うことにより、快適で安全な漁業活動の場や地域住民の交流の場を確保することを目指す。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 安全で安心な漁港利用の推進を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) いぶり中央漁業協同組合に対して、鷲別漁港内の照明灯電気料の一部を補助する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市水産業振興対策事業補助規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) いぶり中央漁業協同組合

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金			千円				
道支出金	北海道権限委譲事務交付金		千円	40	40	40	40	40
地方債			千円					
その他			千円					
一般財源			千円	77	77	77	63	70
	合計			117	117	117	103	110

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) いぶり中央漁業協同組合に対して、鷲別漁港内の照明灯電気料の一部を補助した。 【事業実績】 照明灯電気代				
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績
		年間の漁港愛護活動回数（漁港清掃）	回	1	1	1

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 特になし。
--------	--------	-------------------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	漁港は水産物の陸揚げ・流通の拠点であるとともに、海洋性レクリエーションの場として、漁業者や地域住民等が利用する地域社会の核としての役割を担っているため、引き続き、漁港の維持管理状況の把握に努め、関係機関との連絡調整を行う。	目標 安全で安心な漁港利用の推進を図る。 計画 いぶり中央漁業協同組合に対して、鷲別漁港内の照明灯電気料の一部を補助する。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 鷲別漁港（鷲別地区）機能保全計画策定負担金

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	平成 28 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 28 年度
基本的な方向	3	時代に即した漁業生産の基盤づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	4	漁港の維持・管理と環境整備促進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	漁業管理者である北海道が実施する、鷲別漁港（鷲別地区）の機能保全のための調査及び計画策定に係る費用の一部を負担することにより、漁港の適切な機能保全と安全利用の推進を図ることを目的とする。	前回評価
----	---	------

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 漁港の適切な機能保全と安全利用の推進を図る	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 漁業管理者である北海道が実施する、鷲別漁港（鷲別地区）の機能保全のための調査及び計画策定に係る費用の一部を負担する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) いぶり中央漁業協同組合

Plan ↓ Do 事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
	道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源		千円	0	0	2,300	2,134	0
合計				0	0	2,300	2,134	0

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 北海道が国の補助事業を活用し、鷲別漁港（鷲別地区）の機能保全を実施するにあたり必要とされる「機能保全計画」の策定に係る費用の一部を負担した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 特になし。
-----------------	--------	-------------------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	終了	平成28年度で事業終了。	目標
	平成28年度	行政評価会議	計画
【2次評価】	終了	総合	
【3次評価】			